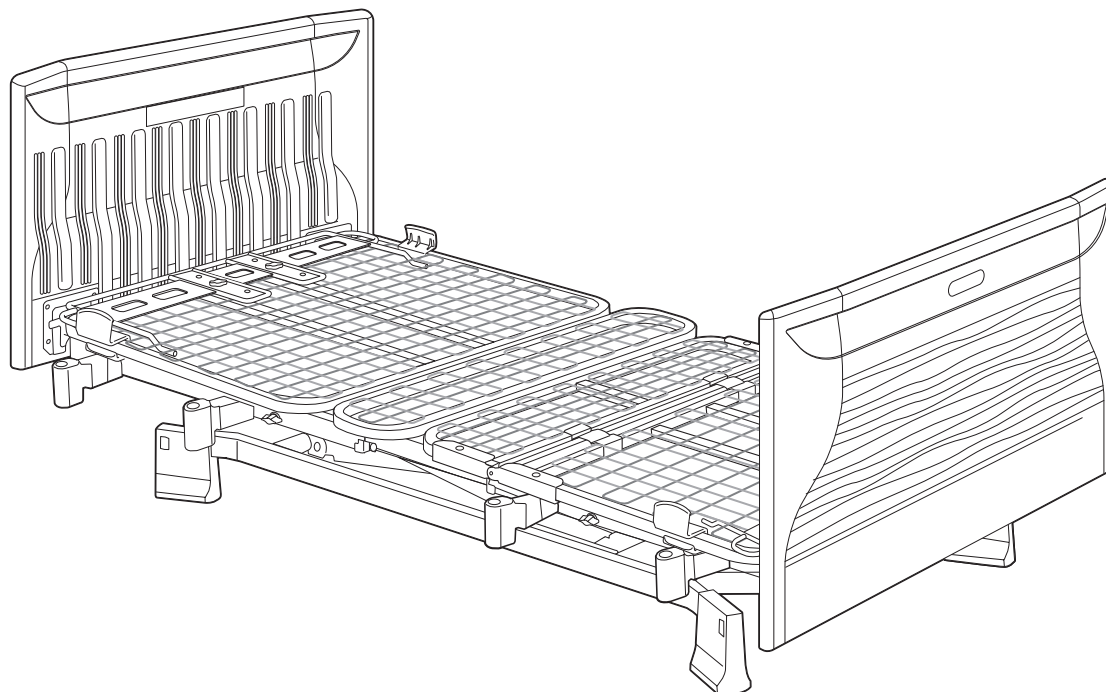


取扱説明書

Miolet^{III}NEXT



●2モーター

90cm幅：P113-23シリーズ

83cm幅：P113-24シリーズ

●3モーター

90cm幅：P113-33シリーズ

83cm幅：P113-34シリーズ

この度は在宅介護用ベッド「ミオレットⅢネクスト」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この「取扱説明書」は、組み立て・ご使用前に必ずお読みいただき、正しくご使用ください。

- 介助が必要な方がご使用になる場合は、介助する方も必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。
- お買い上げの商品は、改良などにより、この取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または弊社までお問い合わせください。

商品名	ミオレットⅢネクスト
型 式	P113

使用目的

このベッドは、ご家庭での介助をおこなうことを目的として作られたベッドです。

商品の特長

 背上げ	起き上がり動作を支援します。
 ひざ上げ	リクライニング時のずれを防ぎます。 また、下肢の姿勢を調整します。 ひざ上げ時につま先の「足先上げ」と「足先下げ」を選択できます。
 高さ調節	立ち上がり動作を支援します。 また、介助しやすい高さにベッドを調節します。
 フィッティング機能	ひざの屈曲位置を調節します。

- オプション受けはすべて収納式です。車椅子からベッドの移乗を楽におこなうことができます。
- パーツの交換なしで、レギュラー・ショート・ロングタイプの切り替えができます。
- パーツの交換のみで、2モーター・3モーターの変更ができます。
- 固定脚／キャスターの取り替えができます。（キャスターはオプションです。）
- 手元スイッチは、片手で持ったままでも操作がしやすい形状になっています。

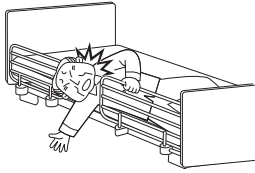
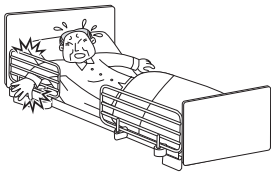
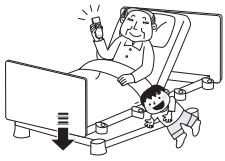
● 安全にご使用いただくために	3～10
● ベッドの設置と移動について	11～12
● 各部の名称	13
● 開梱と部品の確認	14～17
● ベッドの組み立てかた	
・ ベースフレームとセンターフレームの組み立て	18～22
・ 電源コードの取り回し	20
・ 手元スイッチコードの取り回し	21
・ ベッドフレーム / フットフレームの取り付け	22～23
・ 背ボトム / 腰ボトム・ひざ脚ボトムの取り付け	24～25
・ ボードセットの取り付け	26
・ 部品パックの取付位置について	26
● 表示パネル付き手元スイッチの使いかた	
・ 各部の名称とはたらき	27～28
・ 表示パネルについて	29
・ エラー表示	30
・ 設定モードへの切り替え	31～39
・ エラーコード「E1」発生時の対応方法 <エラー解除操作>	39
・ ベッドの設定の初期化	40
● 長さの切り替えかた <レギュラー・ショート・ロングの切り替え>	41
● 3モーターベッドの連動動作	42
● 背あし連動／背のみの切り替えについて	43
● ライジングモーションによる背上げ・背下げ動作	44
● フィッティングバーの設定	45
● 便利な使いかた	46
● 器具のお手入れ・点検	47
● 変更のしかた	48
● 商品の仕様	
・ P113-23シリーズ <2モーターベッド (90cm幅)>	49
・ P113-33シリーズ <3モーターベッド (90cm幅)>	50
・ P113-24シリーズ <2モーターベッド (83cm幅)>	51
・ P113-34シリーズ <3モーターベッド (83cm幅)>	52
● 適合周辺機器	53～54
● パーツ組み合わせ	55～56
● レールの組み合わせ	57～59
● 停電時の背下げ方法	60
● 故障かな？と思ったら	61
● 保管について	61
● 廃棄について	61
● 保証とアフターサービス	62

安全にご使用いただくために ※必ずお守りください。

この取扱説明書では、商品を安全に正しくお使いいただき、利用者や他の方への危害や財産への被害を未然に防止するために、色々な絵表示をしております。

下記をよくお読みいただき、内容をよく理解してから正しくお使いください。

 警告	この表示の欄は、「 生命に関わる怪我、または重傷を負う可能性が想定される内容 」を記載しています。
 注意	この表示の欄は、「 傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容 」を記載しています。

 警告	
● 他社製のサイドレール、ベッド用グリップや、指定した周辺機器以外の組み合わせで使用しないでください。 ・ 危険な隙間が発生し、腕や首、頭をはさむなど重大事故の原因になります。	
● サイドレール、ベッド用グリップ、ボード、ボトムなどとの隙間に身体の一部が入らないよう注意してください。 ・ 隙間にはさまれ、怪我や事故の恐れがあります。	
● 身体の一部をサイドレール・ベッド用グリップから出さないでください。 ・ 骨折など、怪我をする恐れがあります。 ・ 別売りで安全カバーをご用意しております。	
● 各部を操作する際に、フレームとボトムの間に手や指を入れないでください。 ・ 骨折など事故の原因になります。	
● マットレスを設置しない状態で、ベッドを使用しないでください。 ・ ボトムの隙間などに手足の指などがはさまれて怪我をする恐れがあります。	
● マットレスは、必ず指定されたものをご使用ください。(P53、P54参照) また、マットレスの上に布団などを重ねて使用しないでください。 ・ 怪我や事故の原因になります。	
● サイドレール、ベッド用グリップなどを取り付ける際は、きちんと挿し込まれていることを確認してください。 ・ 挿し込み穴に異物が入っていると確実に取り付けことができず、ベッドの乗り降りの際に転落したり、危険な隙間が発生したりする恐れがあります。	

⚠ 警告

- ベッドやベッド以外の電気機器のコード類（電源コードなど）をベッドの下に通さないでください。

・ キャスターや可動部にはさまれてコード類が破損し、感電・火災の恐れがあります。

- ベッドの電源は、直接コンセントから取ってください。また、電源電圧は交流100Vでご使用ください。

・ 指定外の電源電圧や延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すること、定格を超える「たこ足配線」は、電源コードや電源プラグが発火して火災の恐れがあります。

- ヘッドボード・フットボードが、しっかり取り付けられていることを確認してください。

・ ボードの取り付けが不完全な場合、不意に外れ、転倒などによる怪我の恐れがあります。

- ベッドの下にもぐり込んだり、手や足を入れないでください。

・ はさまれて怪我をする恐れがあります。

- ボトム角度やベッドの高さを調節する際は、利用者の状態に注意してください。

・ 利用者がベッドの動作中に動くと、ベッドから転落したり、隙間にはさまれて怪我をしたりする恐れがあります。特に自分で体位を保持できない方の場合には身体を支えながら操作してください。

・ ベッドにはボトムの角度制限機能がはたりますが、圧迫により怪我をする恐れがあります。

- 利用者から目を離す際は、ボトムの角度やベッドの高さに注意してください。

・ 万一のベッドからの転落に備え、状況に応じてボトムの角度を水平にしてベッドの高さを一番低い位置にしてください。

- ベッドと壁や周りのものに、はさまれないように注意してください。

・ 体の一部がはさまれると怪我をする恐れがあります。

- 利用者に乗せたままベッドを移動させないでください。

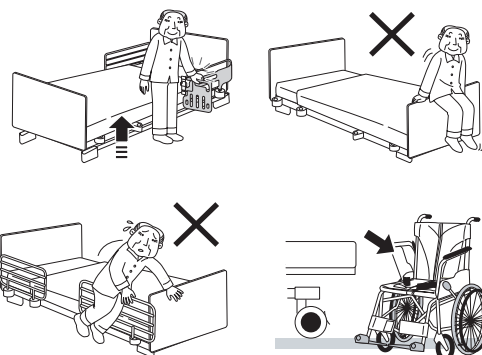
・ キャスターやベッド本体が破損したり、利用者が転落したりする恐れがあります。

- ベッドからの乗り降りの際の転倒事故が多発しています。必ず下記のことを守ってご使用ください。

・ サイドレールや、ヘッドボード/フットボードをまたいだりせず、ベッドの横から乗り降りしてください。

・ 睡眠薬を服用の際は、ベッドの乗り降りには十分にご注意ください。

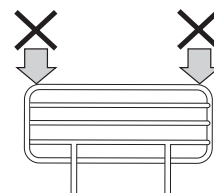
・ 車椅子への移乗の際は、必ずベッドのキャスターおよび車椅子の車輪をロックしてください。



警告

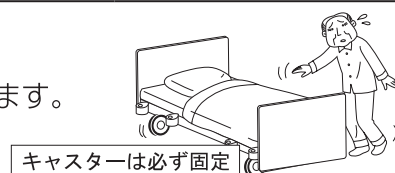
● サイドレールの端に、体重を掛けないでください。

- ・ 傾いて転倒する恐れがあります。
- ・ 立ち上がりに不安のある方は、「ベッド用グリップ」(P53、P54参照)をご利用ください。



● キャスターのロックを解除した状態で放置しないでください。

- ・ ベッドからの乗り降りの際、ベッドが移動し転倒の危険性があります。
- ・ ベッドが壁にぶつかり破損することがあります。



● サイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください。

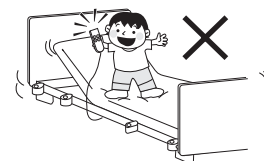
- ・ サイドレールの組み合わせによって生じる隙間や、サイドレールの上から身を乗り出して転落する恐れがあります。
- ・ 厚みのあるマットレスを使用する場合、相対的にサイドレールが低くなりますのでご注意ください。
- ・ ベッドの背を上げた状態で使用される場合、転落予防としての効果を十分に発揮できない恐れがあります。
- ・ 特に予測できない行動をとられる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

● ボトムやオプション受け、ボードなどの突起物に衣類などが絡まないように注意してください。

- ・ 衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、衣類などが引っ張られるなどして、怪我をする恐れがあります。
- ・ ベッドの乗り降りなどの際に転落して、怪我をする恐れがあります。

● ベッドの上に立ったり、立った状態でベッドの操作をしたりしないでください。

- ・ 転倒などにより怪我や事故の原因になります。

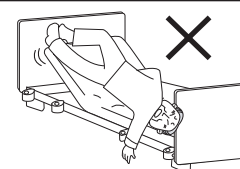


● 「上がっている背やひざ脚ボトムの上に座る」「ボトムの上で飛び跳ねる」「ボトムに飛び乗る」などの行為はしないでください。

- ・ 怪我や事故、故障の原因になります。

● ベッドにうつ伏せで寝た状態や頭脚逆方向で寝た状態での使用はしないでください。

- ・ 怪我や事故の原因になります。



⚠ 警告

● **操作が理解できないと思われる方（お子様や認知症の方など）に、操作させないでください。**

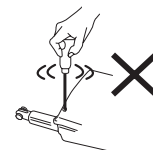
- ・ 操作が理解できないと思われる方が、ベッドを操作する可能性がある場合には、手元スイッチをロックする（P37参照）か、電源プラグを抜き、誤操作による事故を未然に防いでください。

● **乳幼児やお子様には、使用しないでください。**

- ・ 本商品は、乳幼児やお子様向けには設計されていません。
- ・ サイドレールなどの隙間に身体の一部がはさまれたり、転落して怪我をしたりする恐れがあります。

● **分解・修理・改造はしないでください。**

- ・ 故障や感電の原因になります。



● **ベッドは、定期的に点検してください。**

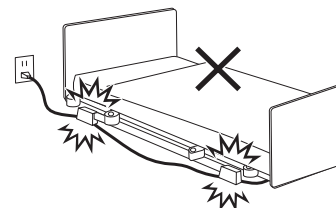
- ・ 使用の頻度や環境により、商品は摩耗、劣化します。定期的に各部の緩み、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。
摩耗、劣化した状態で使い続けると、思わぬ怪我をする恐れがあります。
- ・ ベッドが故障した際は、販売店または弊社までお問い合わせください。

● **被災したベッドは、点検・修理を依頼してください。**

- ・ 地震、火災、水害などで被災したベッドは、お買い上げの販売店または弊社まで点検、修理を依頼してください。電気部品のショートや漏電による感電、火災の恐れがあります。

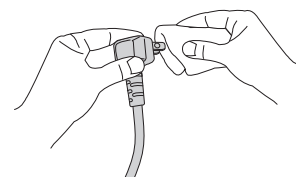
● **コード類（電源コード、手元スイッチのコード、モーターのコード）を傷つけないでください。**

- ・ ベッドの可動部でコード類をはさんだり、コードに引っ掛からないようご注意ください。
- ・ 傷んだコードは感電、火災の原因になるため、修理（交換）を依頼してください。



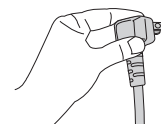
● **電源プラグは、定期的に掃除をしてください。**

- ・ 電源プラグの表面にホコリが付着していると水分を含んで電流が流れ、ショートなどにより感電、火災の恐れがあります。
- ・ 電源プラグの表面にホコリが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。



● **電源プラグを抜く時は、プラグを持って抜いてください。**

- ・ 断線・接触不良により、故障や火災の原因になります。



⚠ 警告

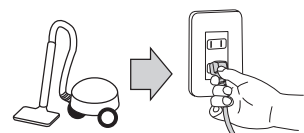
● 電源プラグは、濡れた手で触らないでください。

- ・ 感電する恐れがあります。



● 掃除・点検などでベッド下に入る場合は、電源プラグを抜いてください。

- ・ 誤操作によりベッドにはさまれ怪我をする恐れがあります。



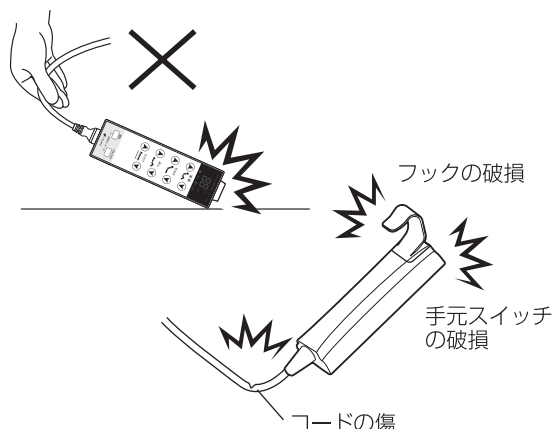
● ベッドを水洗いしたり、モーターや手元スイッチに水などをこぼさないでください。

- ・ ショートなどにより感電、火災の恐れがあります。
- ・ 誤って水などをこぼしてしまった場合、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または弊社までご連絡ください。



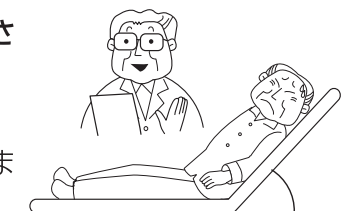
● 手元スイッチの取り扱いに注意してください。

- ・ ベッドが誤作動して怪我をしたり、ショートなどにより、感電や火災の恐れがあります。また、故障の原因になります。
- ・ 落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください
- ・ 手元スイッチを使用しないときは、不用意にボタンを操作しないようにサイドレールやベッド用グリップの外側などに掛けてください。



● 治療中の方やペースメーカーをご使用の方は、医師に相談してください。

- ・ ベッドの操作が、症状を悪化させる危険性があります。
- ・ 背脚の角度によっては床ずれなどの症状を悪化させることがあります。



● 電子治療器（マイクロ波治療器、超音波治療器など）を使用するときは、電源プラグを抜いてください。

- ・ 電子治療器を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤作動の原因になります。なお、他のME 機器と併用する場合は、安全をご確認の上ご使用ください。

● このベッドは、医療機器ではありません。

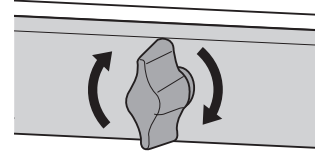
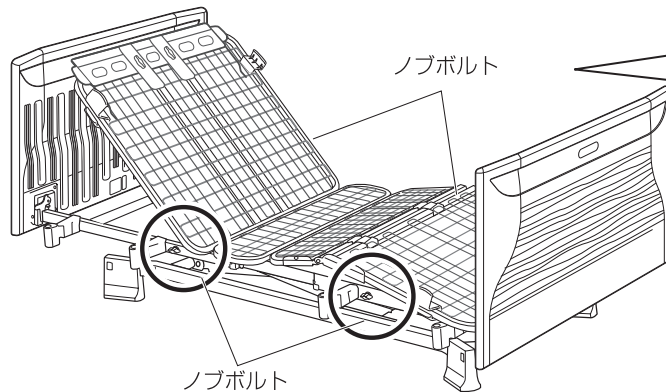
- ・ 心臓マッサージなどベッドに負担がかかる医療行為は、ベッドの破損の原因になる恐れがあります。

警告

- ヘッドボードやフットボードに荷重を掛けて、リハビリなどをおこなわないでください。
 - ・ 破損の原因になります。
- このベッドは1人用のベッドです。ベッドを2人以上で使用しないでください。
 - ・ リハビリをおこなう際、勢いをつけ過度に荷重を掛けたりしないでください。
- モーターの長時間使用（2分以上）はしないでください。
 - ・ 加熱により、温度ヒューズがはたらき動かなくなります。
 - ・ 動かなくなったら販売店にお問い合わせください。この場合は修理費が発生します。
- ボードやサイドレールなどに、抑制帯を取り付けしないでください。
 - ・ 不意に外れて怪我をしたり、ボードやサイドレールなどが破損、変形したりする恐れがあります。
- ボトムなどに抑制帯を取り付けた状態で、背上げやひざ上げなどのベッド操作をおこなわないでください。
 - ・ 利用者の身体が締め付けられて怪我をしたり、ベッドが破損、変形したりする恐れがあります。
 - ・ 利用者や介助者の方などが手元スイッチに触れる可能性がある場合には、手元スイッチをロックする（P37参照）か、電源プラグを抜き、誤操作による事故を未然に防いでください。
- 背ボトムのみ、脚ボトムのみに負荷を掛けた状態で、背上げやひざ上げなどのベッド操作をおこなわないでください。
 - ・ 怪我をしたり、ベッドが破損、変形したりする恐れがあります。
- 本体に貼ってあるシールは、剥がしたり傷付けたりしないでください。
 - ・ お客様を危険から守るための情報や、故障時に素早く的確な対応をするためのロット番号が記載されています。
- 下記の使用環境を守ってください。
 - ・ 使用周囲温度：5℃～40℃
 - ・ 相対湿度：20%～90%（結露無きこと）
 - ・ 気圧：700hPa～1060hPa
- 故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。
 - ・ 直射日光のあたる場所 ・ 冷暖房による冷気や暖気が直接あたる場所
 - ・ 過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所 ・ 高温、多湿、低温、乾燥した場所
 - ・ ホコリ、煙、塩分、イオウ分、腐食性物質などの多い場所 ・ 換気の悪い場所
 - ・ 振動や衝撃のある場所 ・ 床が水平でない場所 ・ 床が丈夫でない場所
- ベッドの下にリフトの脚を挿入する場合は、リフトの脚部の高さを確認してください。
 - ・ 本商品は、ミオレットⅢ専用ハイトスパーサー（4個組）PH05-45を装着することで、高さ調節が可能です。使用されるリフトの種類により脚の高さが異なりますので、詳しくは販売店に確認してください。

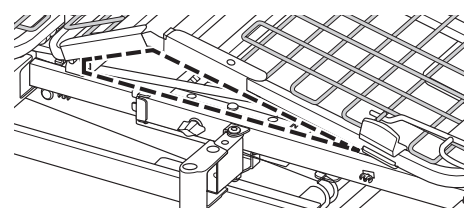
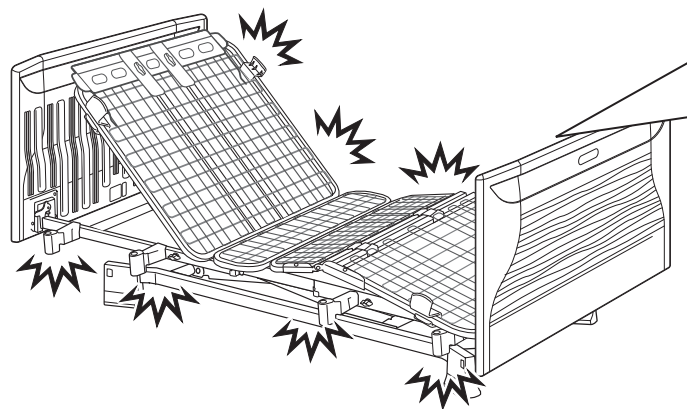
⚠ 注意

⚠ ノブボルトは、しっかり締め付けてください。



4箇所のノブボルトを確実に締め付けてください。
緩んだ状態で使用すると、怪我や破損の恐れがあり危険です。

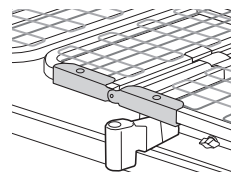
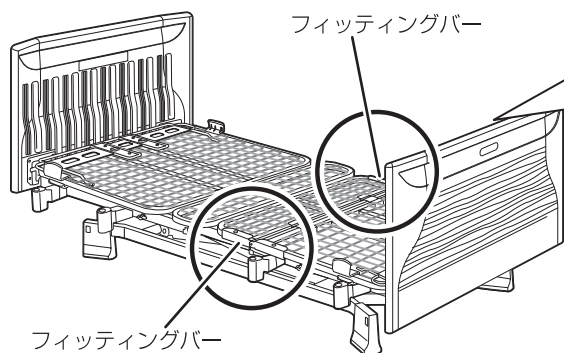
⚠ 指はさみに注意してください。



ボトムが上がっている際には、
ボトムの下に手や指を入れない
でください。
怪我をする恐れがあります。

⚠ 注意

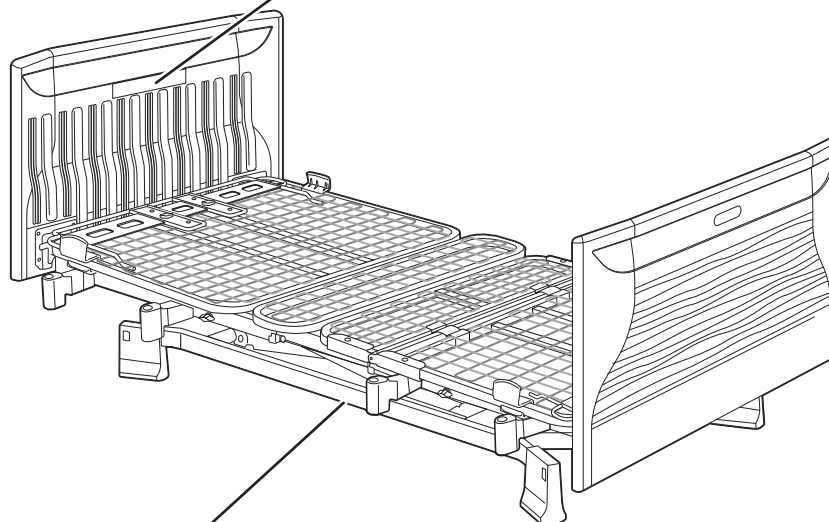
⚠ 指はさみに注意してください。



サイドレールおよびベッド用グリップを装着してボトムを上げる際には、フィッティングバーとの隙間に注意してください。怪我をする恐れがあります。

下記のシール類は、特に注意していただきたい項目を記載しています。剥がしたり、傷付けたりしないでください。

使用上の注意					警告
= 138Kg = 174Kg (1700N) 最大利用者体重 安全動作荷重					・取扱説明書に記載のサイドレール、ベッド用グリップ及びマットレスを使用してください。記載以外のサイドレール、ベッド用グリップ及びマットレスを使用されると、危険な隙間が発生し、重傷死亡事故の原因となる恐れがあります。 株式会社ブラッツ
昇降1モーター	昇上げ1モーター	2モーター	3モーター-NEXT	3モーター	
背上げ		水平から70°			
ひざ上げ		水平から22°		水平から18°	
ボトム高さ	25 ~ 59 cm	25/31 cm (手動)	25 ~ 59 cm		



⚠ 警告
 ベッドの下に入ったり、物を置いたりしないでください。ベッドの下や隙間に体の一部（頭、腕、脚）などを入れないでください。
 ・骨折など、怪我をする恐れがあります。掃除、点検などでベッドの下に入る場合は必ず電源プラグを抜いてください。

ベッドの設置と移動について

ベッドの設置・組み立て・分解は販売店もしくは弊社指定の業者にお任せください。

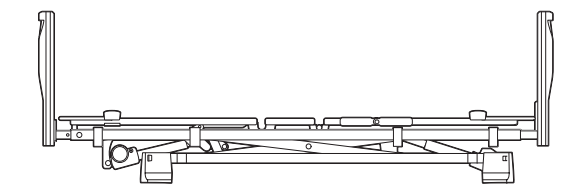
必ず丈夫で水平な床に設置してください。

ベッドの重量（マットレスや周辺機器を含む）と使用される方の体重（例：80kg）を合わせると約200kgの総重量となります。

この荷重に十分耐えられる水平な場所へ設置してください。

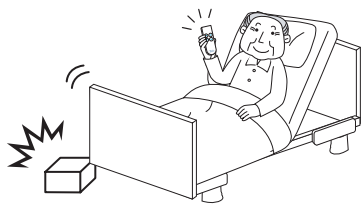
※ベッドの滑り止めや床のキズ防止のために、床キズ防止カーペット（PSC-1216SC）をおすすめします。

最大利用者体重：138kg

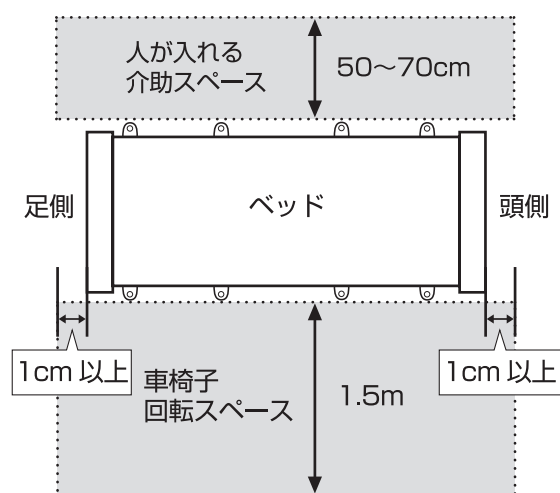


おねがい

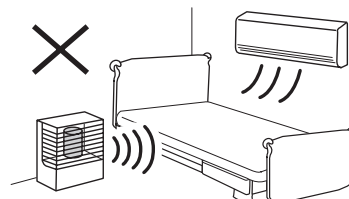
- ベッドの周りでは、できるだけ広い空間を確保してください。
療養される方のベッドからの移乗や介助する場合のスペースを十分検討して設置してください。
- 電源コンセントの位置から10cm程度離し、昇降時に電源プラグとベッドが接触しないようにしてください。
- ベッドの下に物を置かないでください。
昇降時にベッドが破損したり、ベッドが斜めに傾くことがあり危険です。



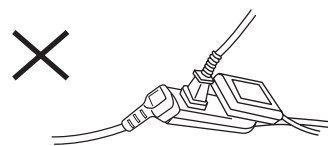
設置参考図



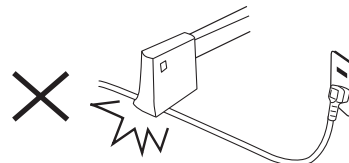
- ベッドの周りのものや、部屋の構造物に当たらないように注意してください。
ベッドの動作（特に高さ調節）によって、ベッドやベッド周りのもの、構造物が破損する恐れがあるため、ベッドは壁から最低1cm以上離して設置してください。
- ストーブや火気のある物などをベッドの近くに設置しないでください。
機器の変形や火災の原因になり非常に危険です。



- 配線器具の定格を超える「たこ足配線」や、表示された電圧（100V）以外の電圧では使用しないでください。
火災やモーター故障の原因になります。



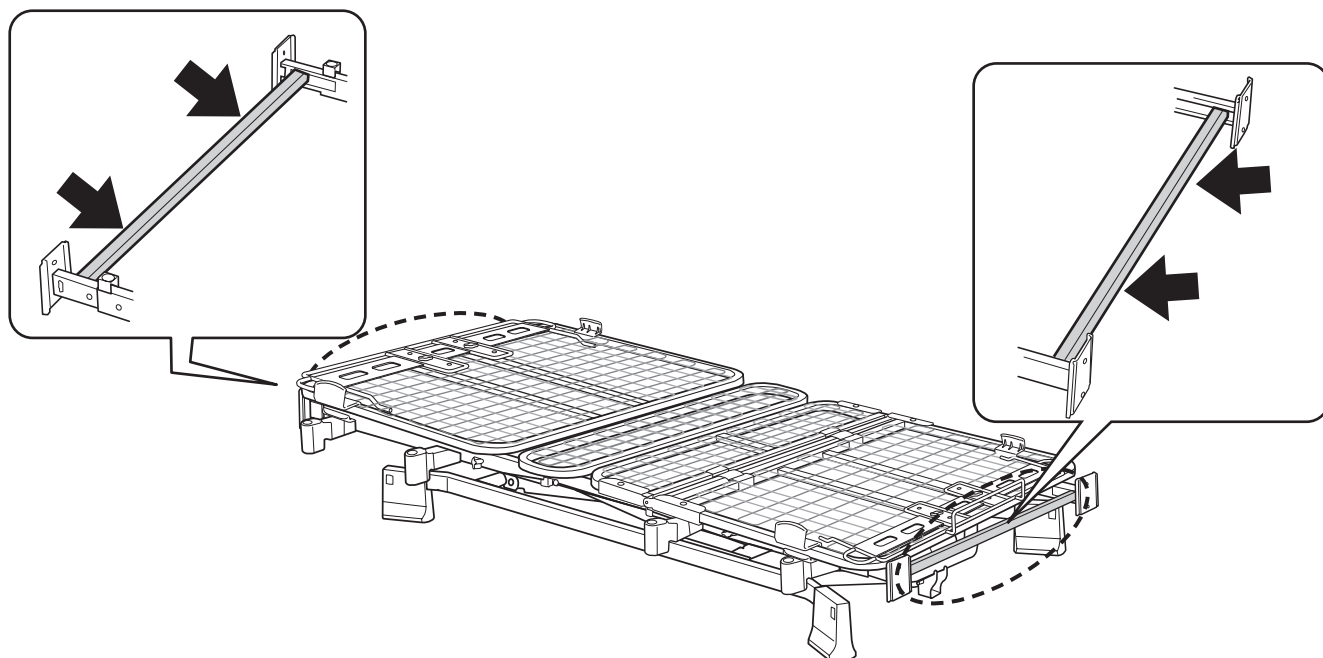
- 電源コードや手元スイッチのコードなどを引っ張ったり、はさまないようにしてください。
断線が発生し、感電、発火、モーターの故障の原因になります。



- 組み合わせるサイドレール、ベッド用グリップは適合周辺機器以外は使用しないでください。
危険な隙間が発生し、腕や首、頭をはさむなど重大事故の原因になります。

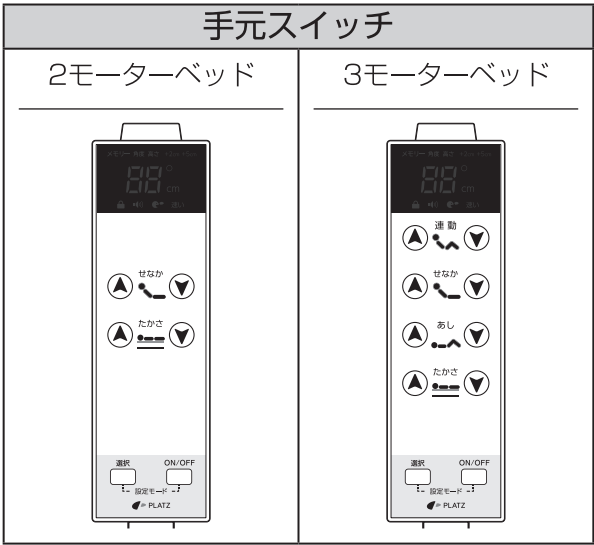
移動について

- 組み立てが終わった状態で移動する場合、下図の矢印の位置を持って移動してください。

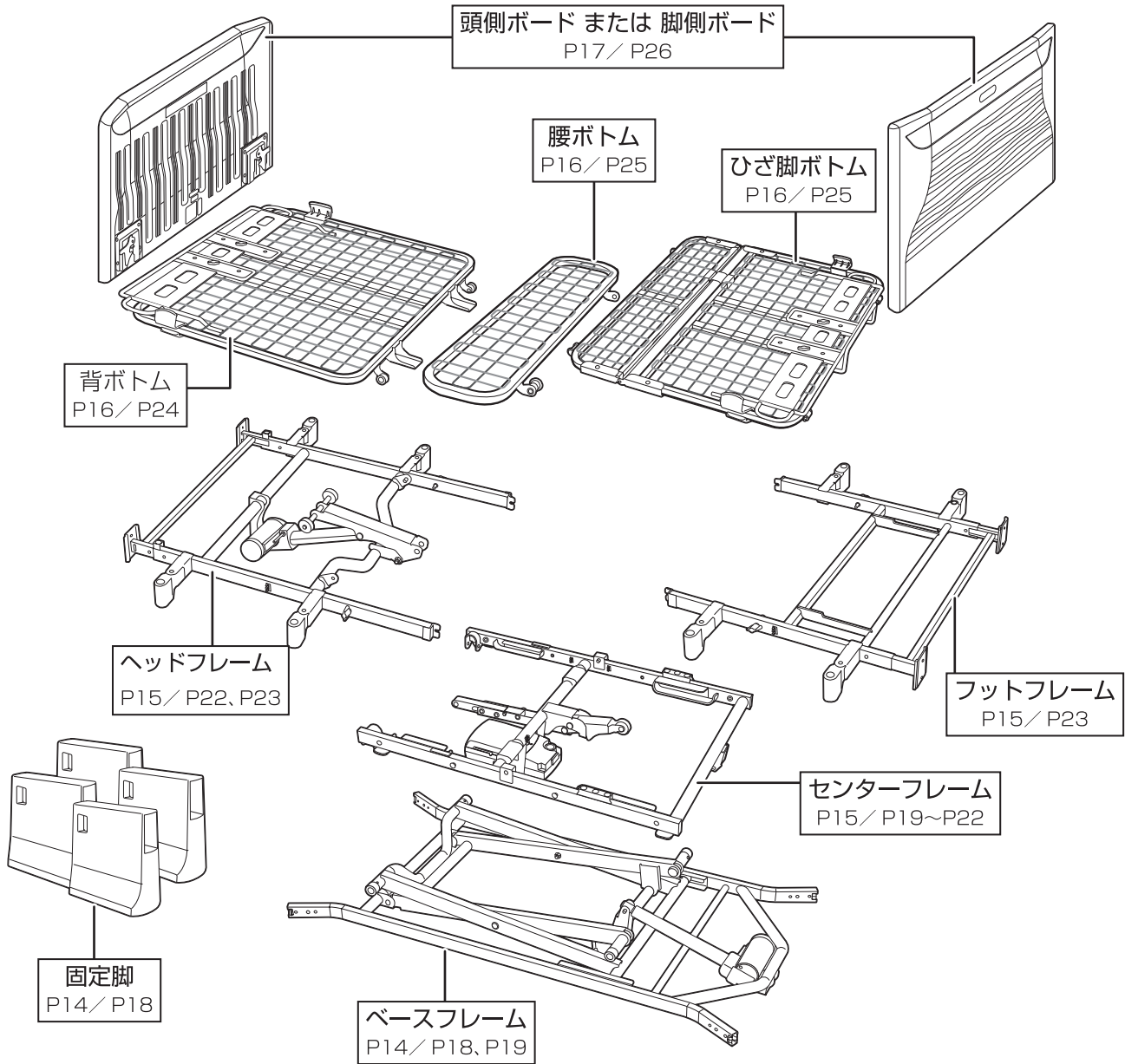


- ベッドは約90kgあります。腰や背中などを痛めないよう、少なくとも4人以上で移動をおこなってください。
- 移動前に必ずヘッドボード・フットボード、サイドレール、マットレスなどを外してください。
- 電源プラグを抜き、手元スイッチのコードに注意してください。
- 人が乗った状態で、移動をおこなわないでください。
- ヘッドボード・フットボードの外しかたは、P26を参照してください。

各部の名称



※仕様変更により、イラストと仕様が異なる場合があります。

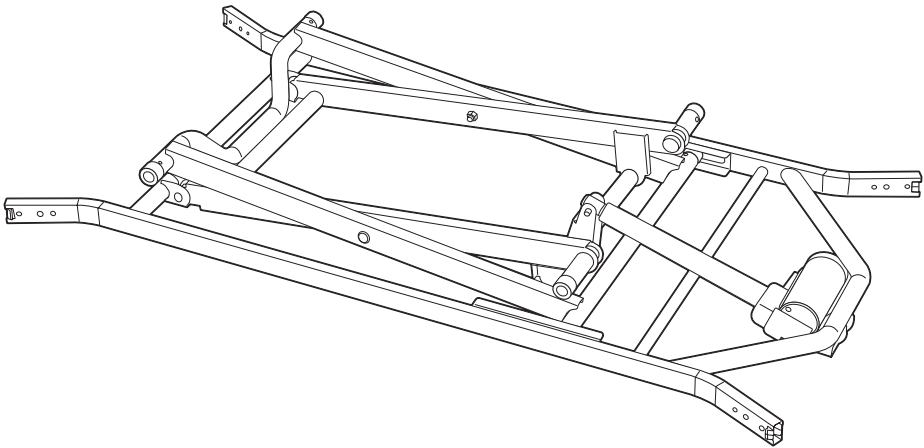


開梱と部品の確認

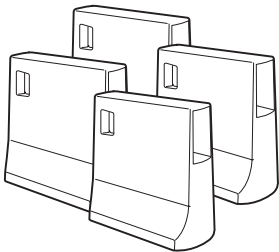
商品が到着した時点で、下記の部品が全て同梱されているか、また、破損していないか下記欄へチェックをしながら確認をしてください。万一、部品の不足や破損があった場合は、販売店または弊社までご連絡ください。

(チェック例) 固定脚×4 ☒

ベースフレーム
PP113-ZTZ-1/5
梱包 (1/5)

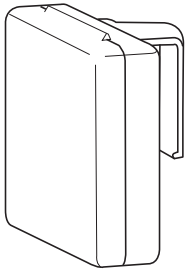


ベースフレーム	
---------	--



固定脚×4	
-------	--

部品パック	
-------	--



ピン		×3	
割りピン		×5	

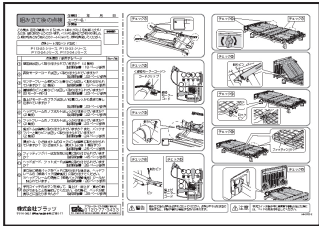
※ 3 モーターベッドは「ピン× 1」「割りピン× 1」が余ります。



取扱説明書のご案内 〈保証書付〉	
---------------------	--



取り扱い方法と 使用上の注意	
-------------------	--



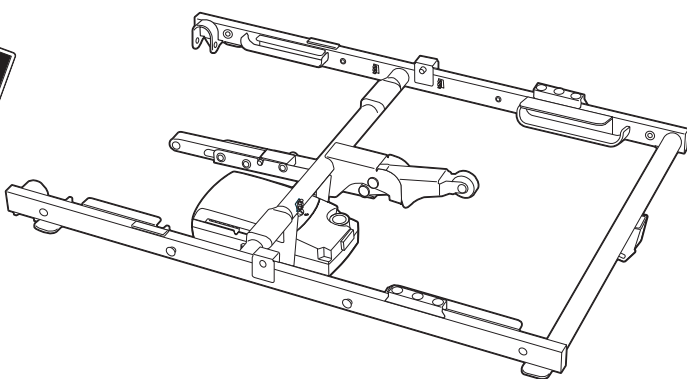
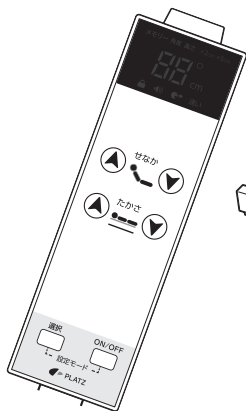
組み立て チェックリスト	
-----------------	--

開梱と部品の確認

センターフレーム

PP113-2TZ-2/5

梱包 (2/5)



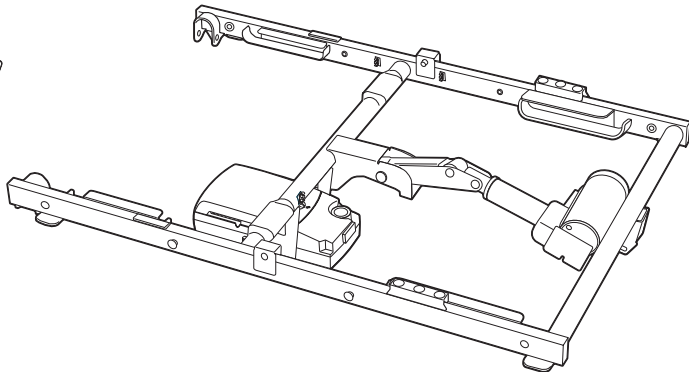
手元スイッチ

センターフレーム

センターフレーム

PP113-3TZ-2/5

梱包 (2/5)



手元スイッチ

センターフレーム

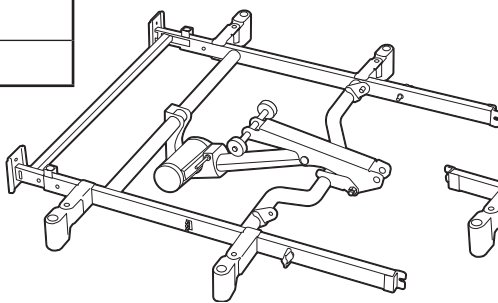
ヘッドフレーム・フットフレーム

PP113-TAZ-3/5

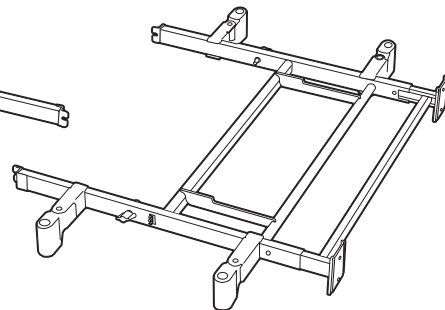
梱包 (3/5)

90cm 幅専用

ヘッドフレーム



フットフレーム



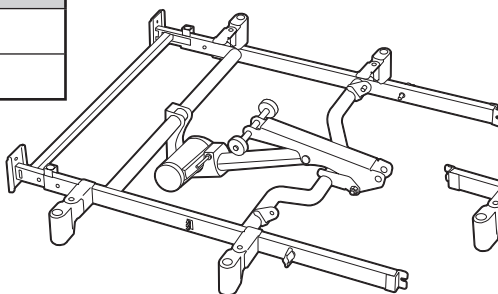
ヘッドフレーム・フットフレーム

PP113-TBZ-3/5

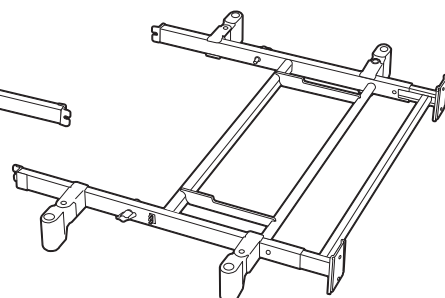
梱包 (3/5)

83cm 幅専用

ヘッドフレーム



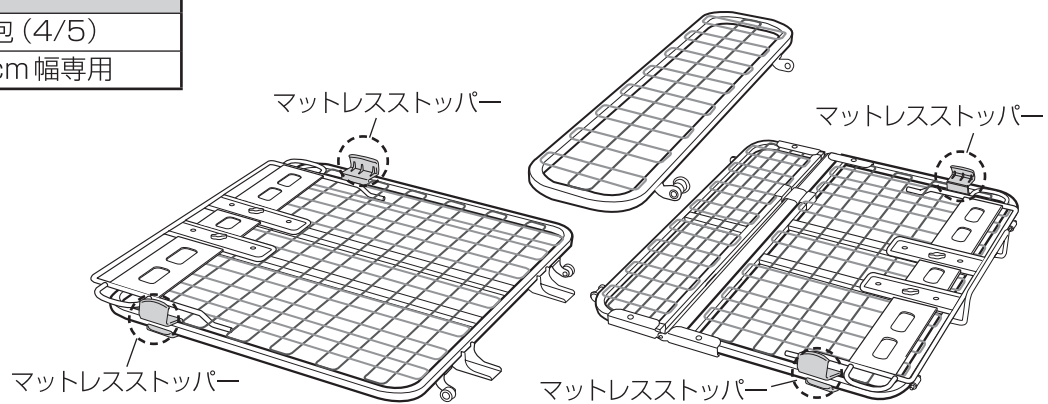
フットフレーム



ボトムセット
PP113-ZAZ-4/5
梱包 (4/5)
90cm 幅専用

マットレスストッパー×4

腰ボトム



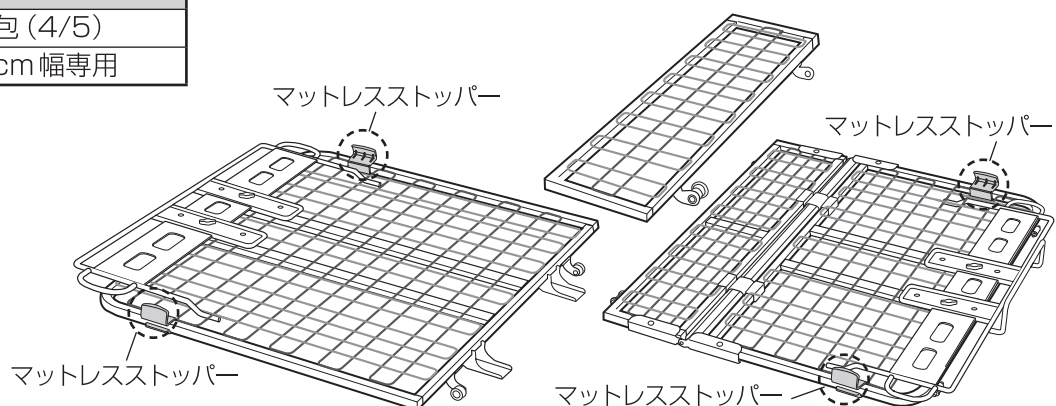
背ボトム

ひざ脚ボトム

ボトムセット
PP113-ZBZ-4/5
梱包 (4/5)
83cm 幅専用

マットレスストッパー×4

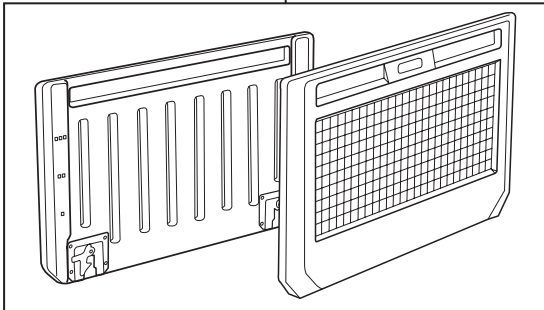
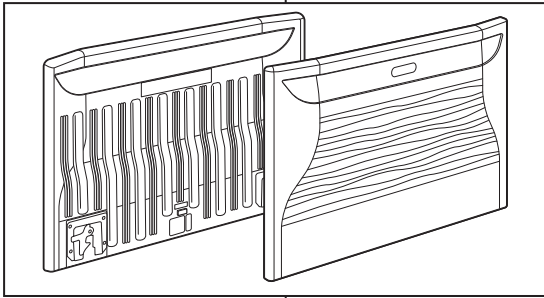
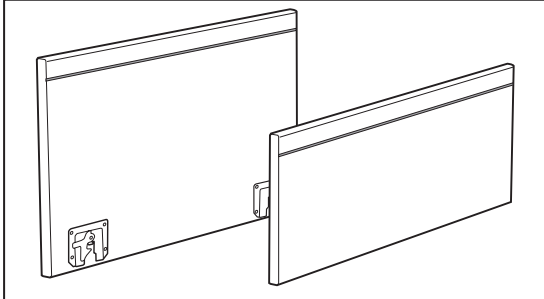
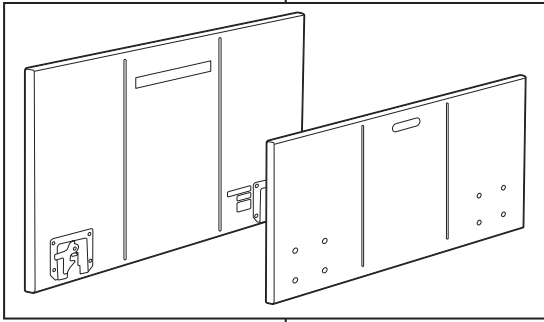
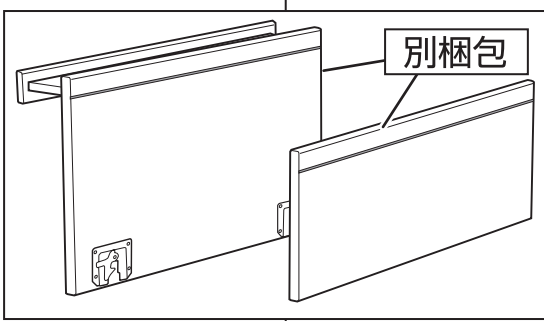
腰ボトム



背ボトム

ひざ脚ボトム

開梱と部品の確認

90cm 幅専用		83cm 幅専用		
樹脂ボードセット PP113-ACZ-5/5 梱包 (5/5)			樹脂ボードセット PP113-CCZ-5/5 梱包 (5/5)	
ヘッドボード×2			ヘッドボード×2	
樹脂ボードセット PP113-AHZ-5/5 梱包 (5/5)			※83cm 幅仕様はありません	
ヘッドボード×2				
木製ボードセット PP113-BAZ-5/5 梱包 (5/5)			木製ボードセット PP113-DAZ-5/5 梱包 (5/5)	
ヘッドボード フットボード			ヘッドボード フットボード	
木製ボードセット PP113-BFZ-5/5 梱包 (5/5)			※83cm 幅仕様はありません	
ヘッドボード フットボード				
木製宮付ボードセット PP113-BBZ-5/5 梱包 (5/5)			※83cm 幅仕様はありません	
宮付ヘッドボード (PP113-B3Z-5/5) フットボード (PP113-B2Z-5/5)				

ベッドの組み立てかた

ピンの
色
について

- 黒** 黒のピンは取り外ししません
- 銀** 銀のピンは取り外します
- 金** 金のピンは必要に応じて取り外します



組み立ての際に、手や指をはさまないようにご注意ください

ベースフレームとセンターフレームを組み立てます

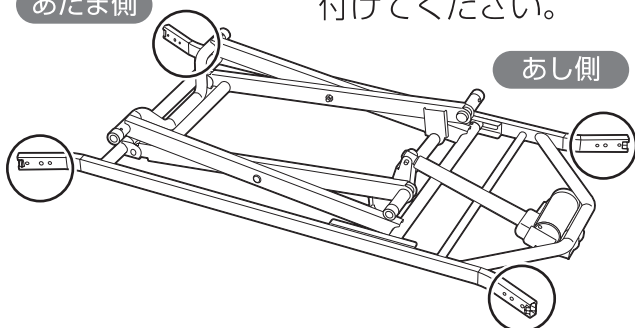
1

ベースフレーム

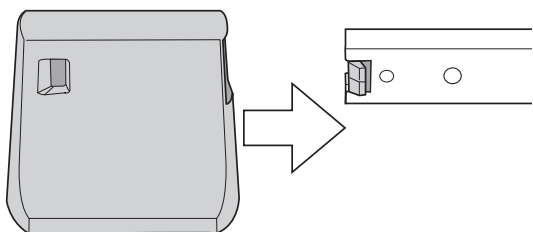
あたま側

ベースフレームを準備します。あたま側、あし側の位置を確認してください。図のように固定脚を取り付けてください。

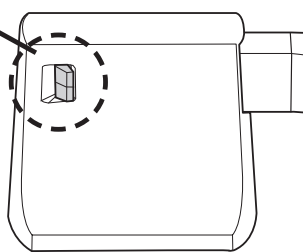
あし側



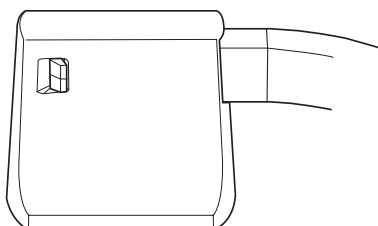
- ① ベースフレームに固定脚をしっかり挿し込みます。



- ② この部分が力
チッと引っ掛
かるまで、固定脚
を挿し込んでく
ださい。



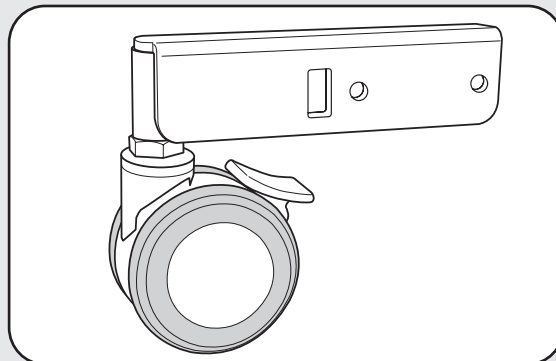
- ③ 4箇所に取り付けます。



オプションについて

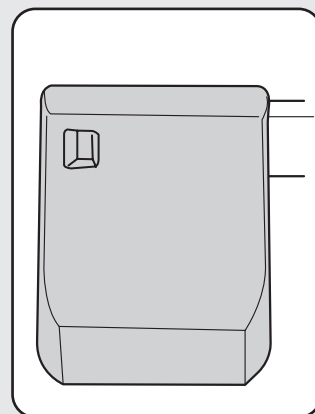
キャスター仕様

専用キャスター（オプション）を取り付けてキャスター仕様にすることができます。適合周辺機器(P53～P54)をご覧ください。



ハイトスペーサー仕様

床面を上げるためのハイトスペーサー固定脚タイプ（オプション）を取り付けることができます。適合周辺機器 (P53～P54) をご覧ください。



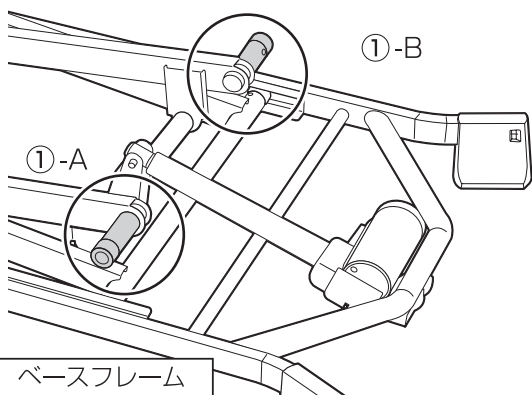
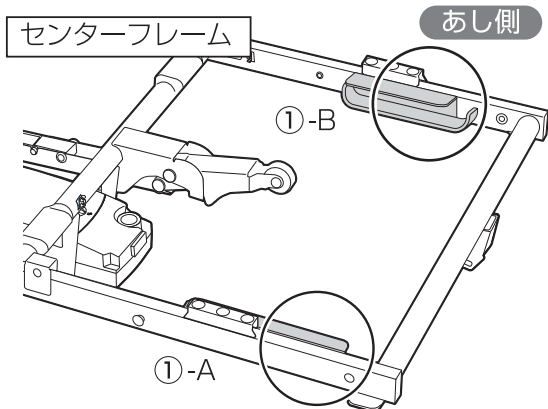
ベッドの組み立てかた

2

センターフレームを
ベースフレームに取り
付けます

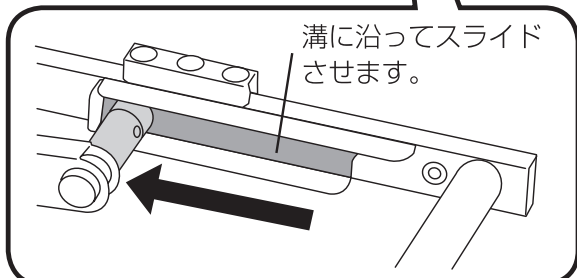
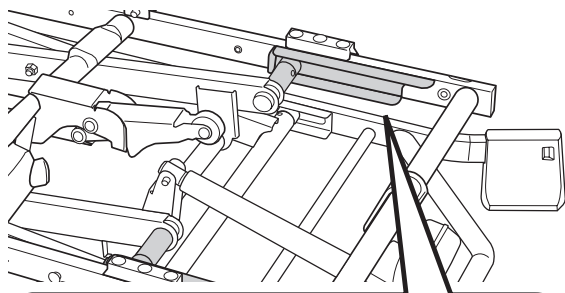
センターフレーム

- ① ベースフレーム“①-A”、“①-B”先端
部分をセンターフレームの溝部分に挿し
込みます。



ベースフレーム

- ② 先端部分を溝に沿ってスライドさせ、奥
まで挿し込みます。

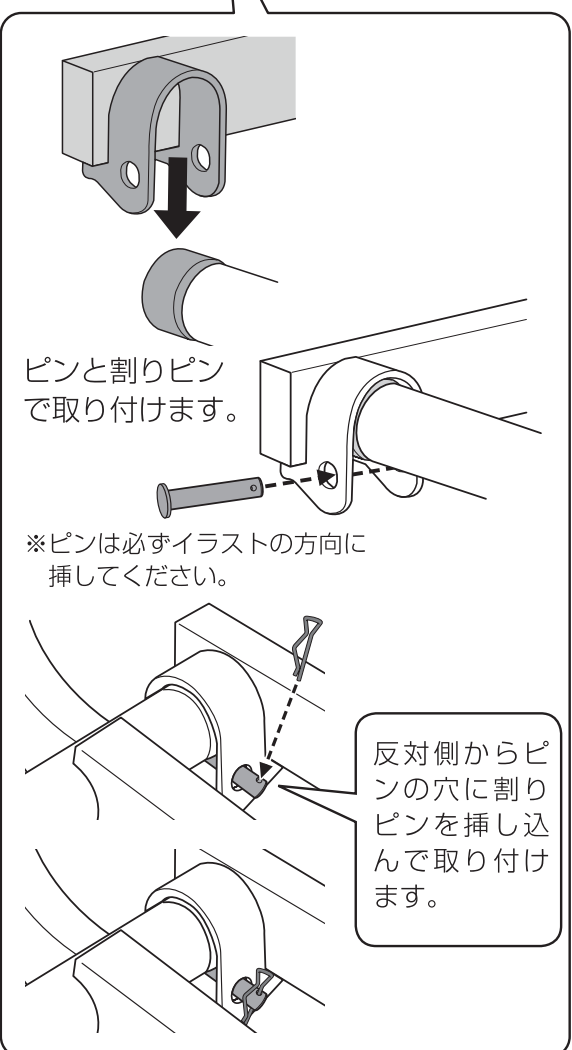
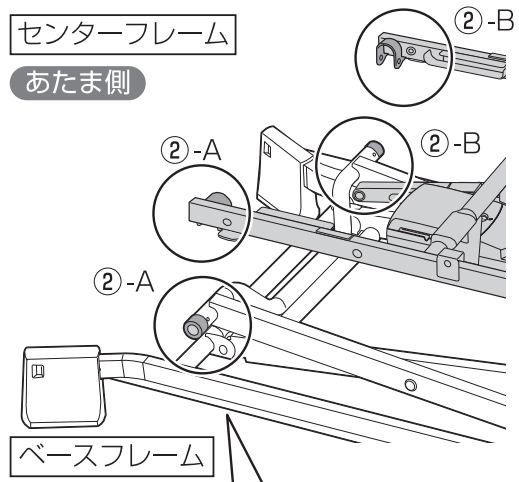


溝に沿ってスライド
させます。

- ③ “②-A”、“②-B”をピンと割りピンで
取り付けます。

センターフレーム

あたま側



ピンと割りピン
で取り付けます。

※ピンは必ずイラストの方向に
挿してください。

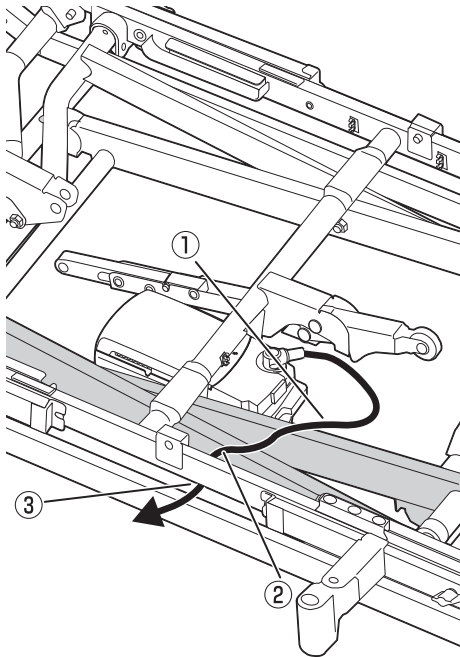
反対側からピ
ンの穴に割り
ピンを挿し込
んで取り付
けます。

確認

ピンと割りピンがしっかり取り
付けられているか確認してくだ
さい

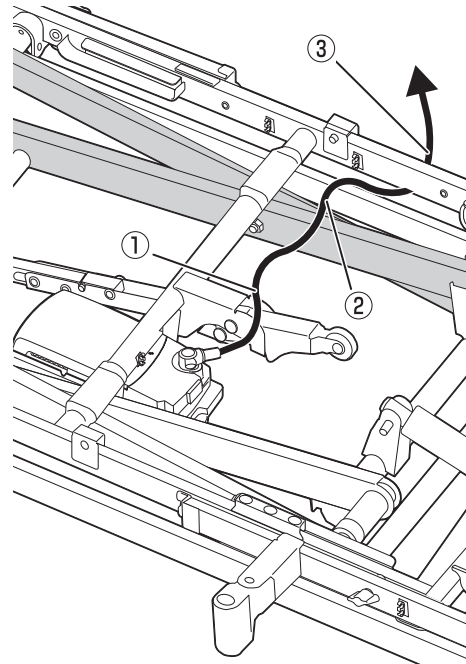
電源コードの取り回し

電源コードは、ベースフレームのX型昇降パイプの上を通してください。
X型昇降パイプの間を通すと、コードの破断や故障の原因となります。



- ① X型昇降パイプの上を通してください。
- ② コードクリップ (黒) に取り付けてください。
- ③ センターフレームの下を通してください。

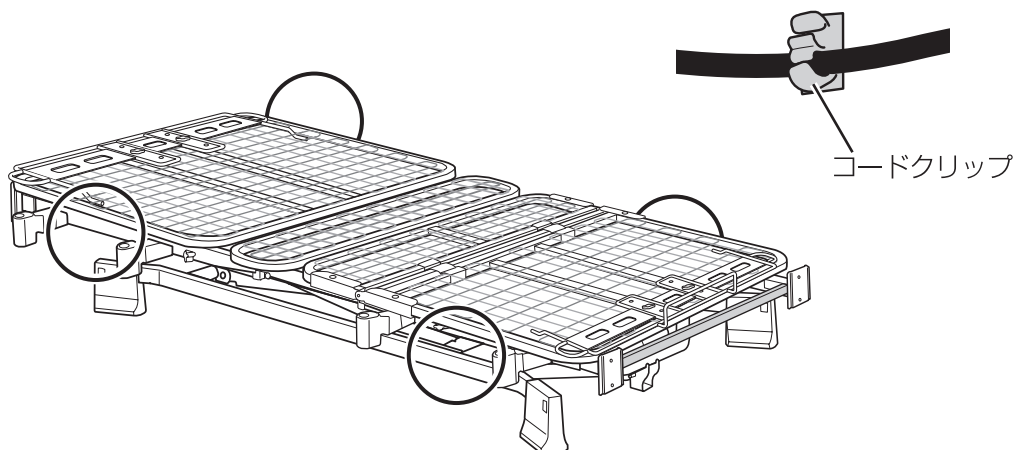
※反対側にコードを取り回す場合



- ① センターフレームの上を通してください。
- ② X型昇降パイプの上を通し、コードクリップ (黒) に取り付けてください。
- ③ センターフレームの下を通してください。

手元スイッチコード、電源コード、コードクリップ位置

下図4箇所「手元スイッチコード」「電源コード」取り回し用の「コードクリップ」があります。
適当なコードクリップにコードを取り付けてご使用ください。



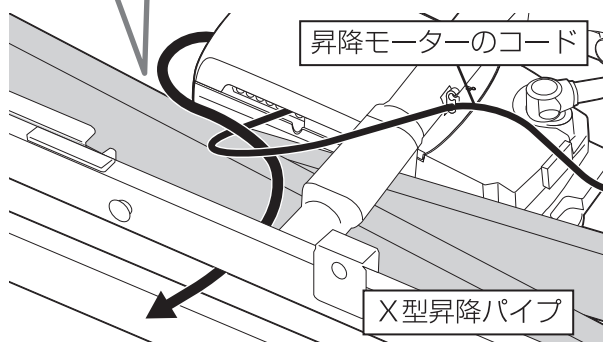
ベッドの組み立てかた

手元スイッチコードの取り回し

手元スイッチを梱包のビニール袋から取り出してください。

手元スイッチのコードは、図のように昇降モーターのコードの輪に通し、X型昇降パイプの上を通してください。X型昇降パイプの間を通すと、コードの破断や故障の原因となります。

※コードクリップ（黒）にコードを取り付けてください。

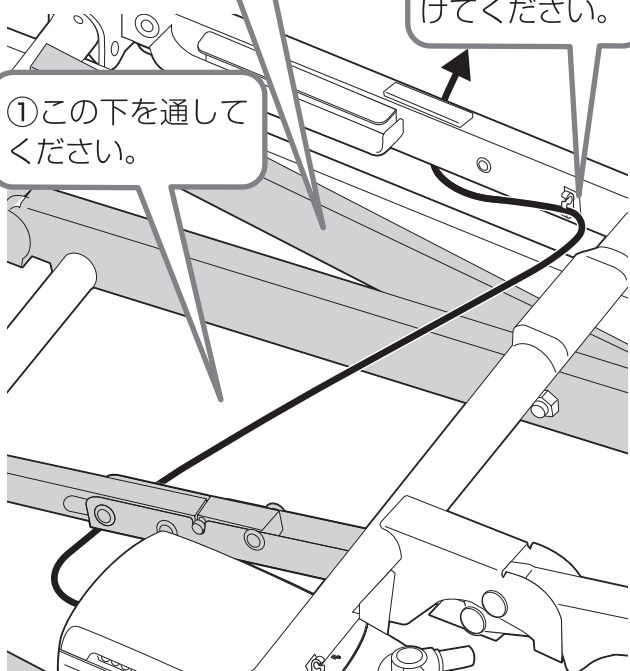


反対側に取り回す場合

② X型昇降パイプの上を通してください。

③ コードクリップ（黒）に取り付けてください。

① この下を通してください。

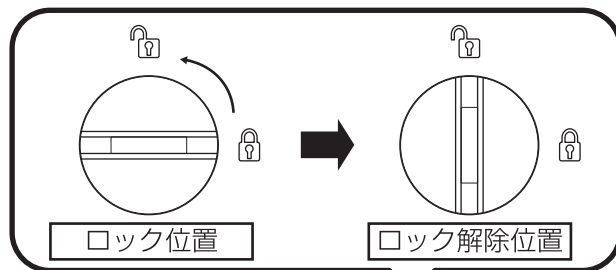


電源部のふたの着脱方法

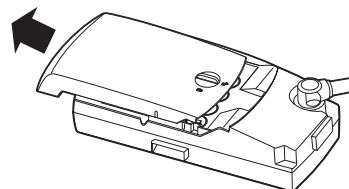
各コードの配線をするときは、電源部のふたの着脱が必要です。

ふたを取り外す場合

① ふたの上面にあるつまみを回して、『ロック位置』から『ロック解除位置』にします。

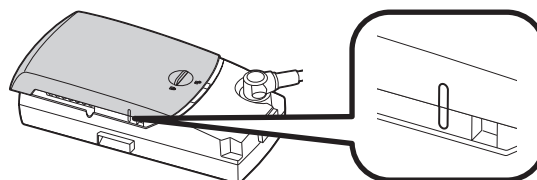


② 矢印の方向にふたをスライドさせます。

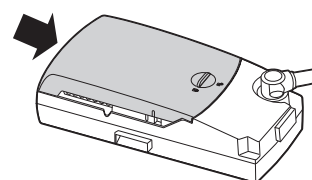


ふたを取り付ける場合

① ふたと電源部の側面の位置マークを合わせます。



② 矢印の方向にふたをスライドさせます。それぞれのプラグが奥まで挿さっていない場合、ふたがしっかりと取り付けられないことがあります。

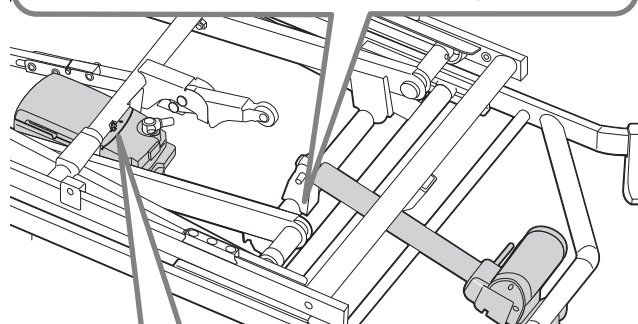


昇降モーターコードの取り付け

昇降モーターのコードをコードクリップに取り付け、電源部の「昇降」にプラグを挿し込みます。

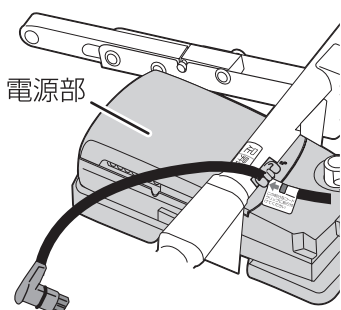
コードクリップ

- ① プラグ側のコードをコードクリップから外します。

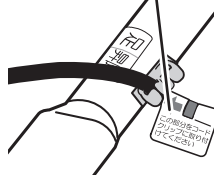


- ② 外したコードを「足/昇降」シールのコードクリップに取り付けます。

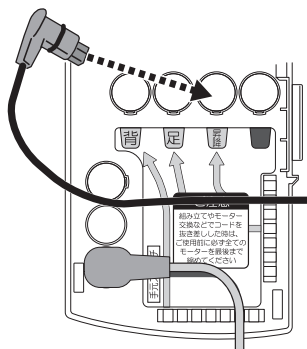
電源部



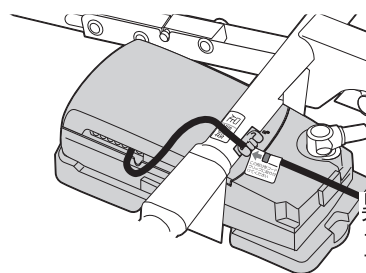
この部分をコードクリップに取り付けてください。



- ③ 電源部の「昇降」に昇降モーターのプラグを挿し込みます。



挿し込んだコードは、シールを参考にこの切り欠き部分に取り付けてください。



昇降モーター側のコードは、ゆとりが出るようにしてください。



確認

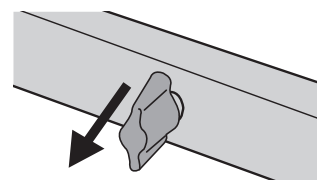
しっかり取り付けられているか確認してください

ヘッドフレームを取り付けます

3-1

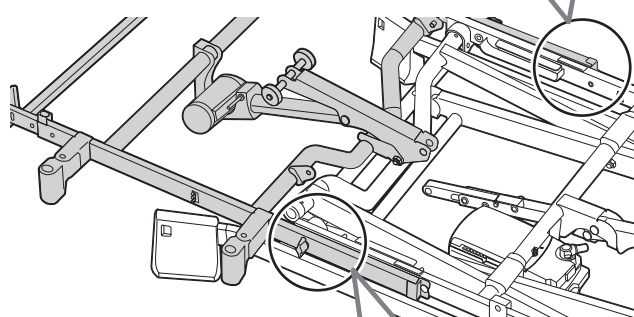
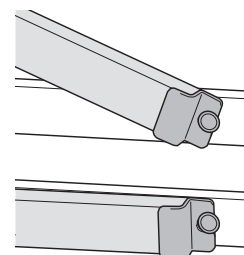
ヘッドフレーム

ヘッドフレームを取り付けます。

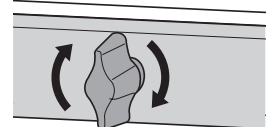


- ① 両側のノブボルトを外側に引っ張ってから組み立ててください。

- ② センターフレームの突起にヘッドフレームの凹部を引っ掛けます。
③ 静かにセンターフレームの上に載せます。



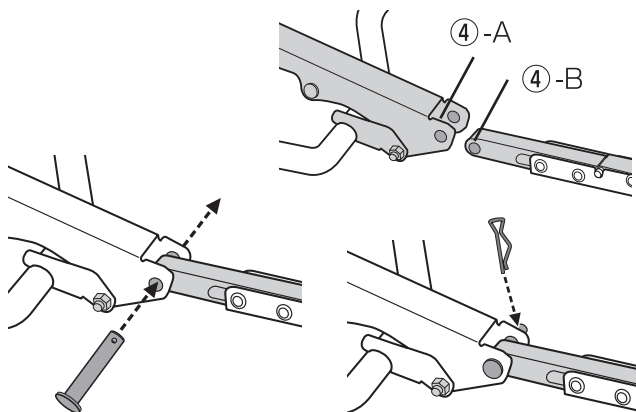
両側からノブボルトで、しっかり締め付けます。



ベッドの組み立てかた

.....
 3モーターの組み立てには④の作業は不要です。ピン1本と割りピン1本が残ります。

④`④-A、`④-B、をピンと割りピンで取り付けます。



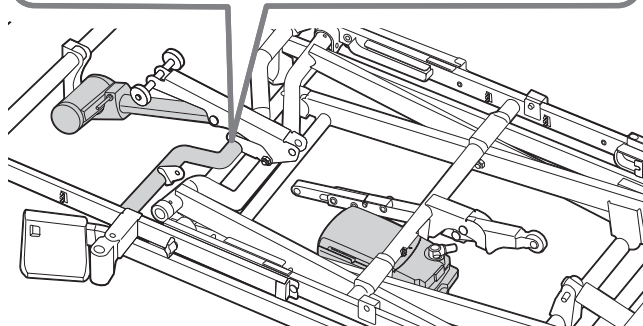
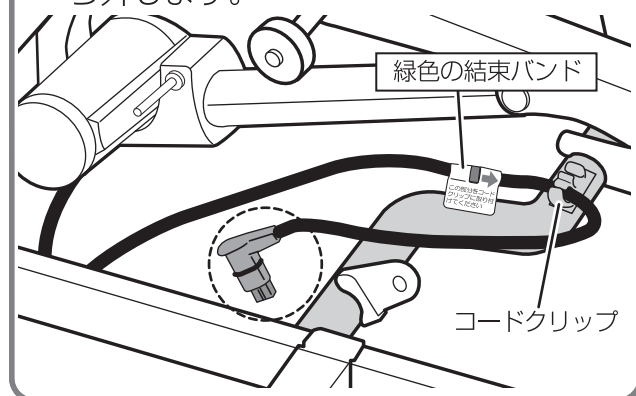
確認

ピンと割りピンがしっかり取り付けられているか確認してください

背モーターコードの取り付け

背モーターのコードをコードクリップから取り外し、電源部の「背」にプラグを挿し込みます。

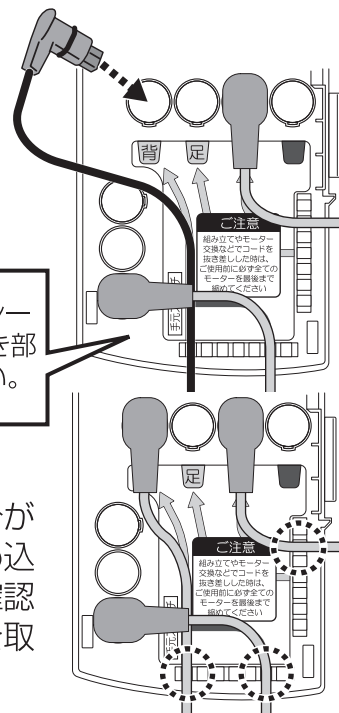
①プラグ側のコードをコードクリップから外します。



②電源部の「背」に背モーターのプラグを挿し込みます。

挿し込んだコードは、シールを参考にこの切り欠き部分に取り付けてください。

すべてのコード部分が切り欠き部分にはめ込まれていることを確認し、しっかりふたを取り付けてください。

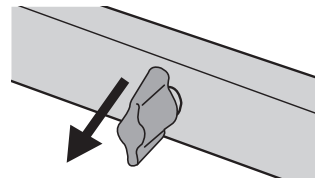


フットフレームを取り付けます

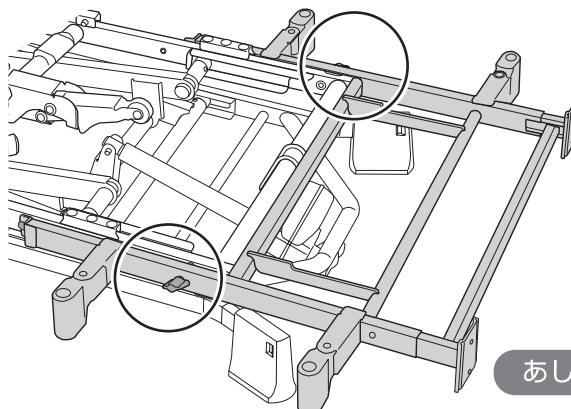
4

フットフレーム

フットフレームを取り付けます。



①両側のノブボルトを外側に引っ張ってから組み立ててください。
 ヘッドフレームの取り付けかた②・③を参照し、フットフレームを取り付けてください。



あし側

背ボトムを取り付けます

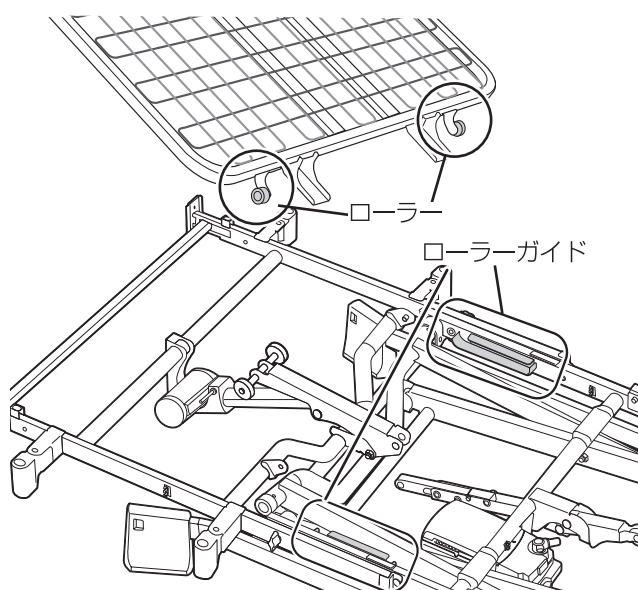
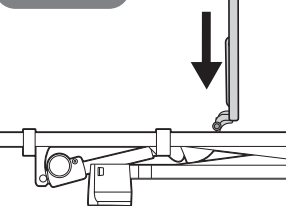
5-1

背ボトムを
取り付けます。

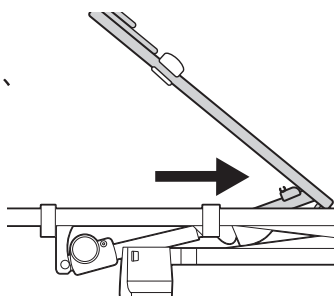
あたま側

背ボトム

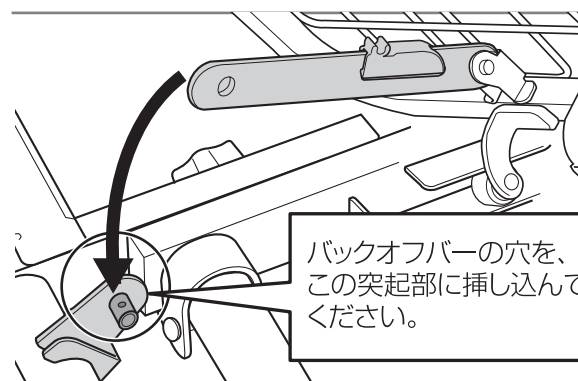
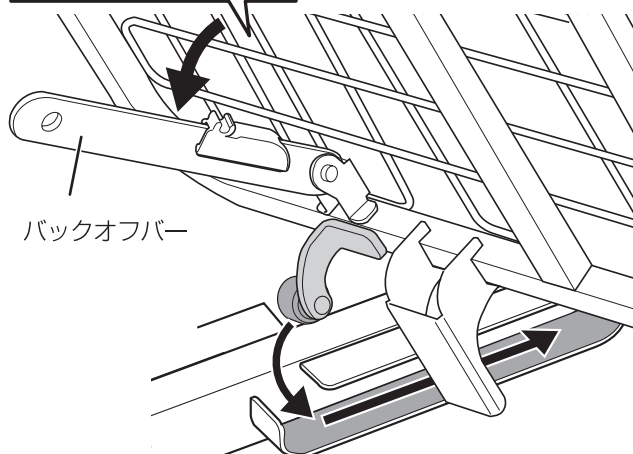
- ① 背ボトムのローラー
をローラーガイドに
挿入します。



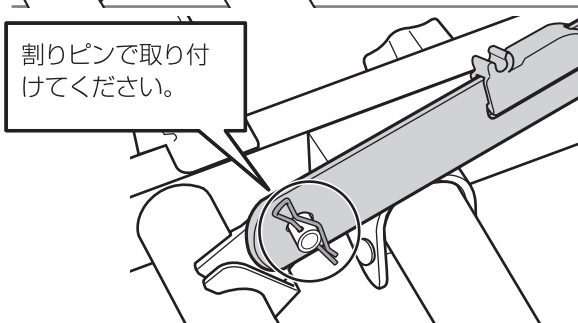
- ② 背ボトムを矢印方
向に動かしながら、
バックオフバーを
取り付けます。



ワイヤーメッシュから
バックオフバーを外し
ます。



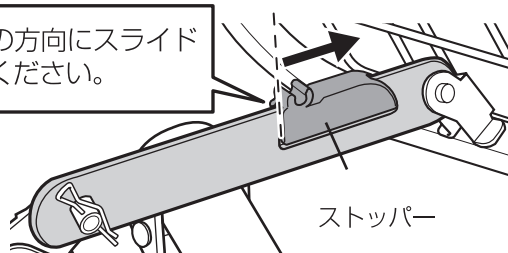
バックオフバーの穴を、
この突起部に挿し込んで
ください。



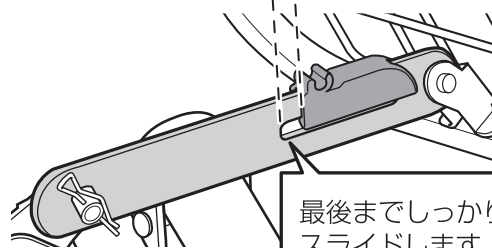
割りピンで取り付
けてください。

- ③ ストッパーをスライドします。

矢印の方向にスライド
してください。



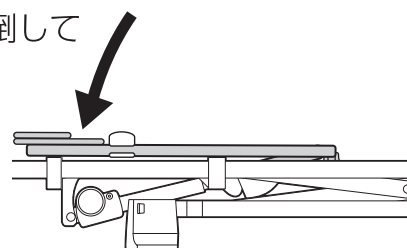
ストッパー



最後までしっかり
スライドします。

※ 反対側のバックオフバーも同様に取
り付け、ストッパーをスライドさせて
ください。

- ④ 背ボトムを倒して
ください。



確認

割りピンがしっかり取り付けら
れているか確認してください

ベッドの組み立てかた

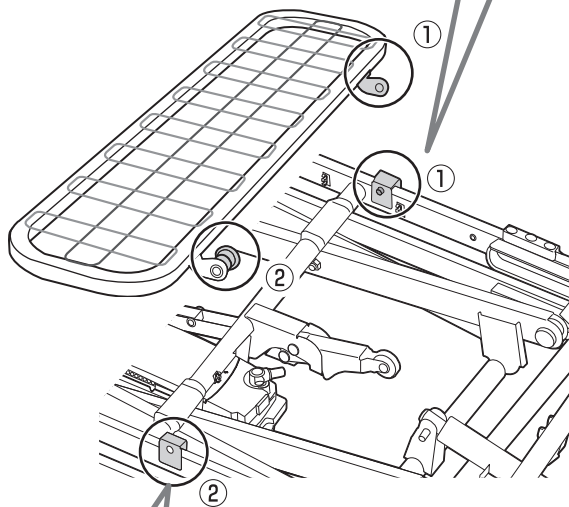
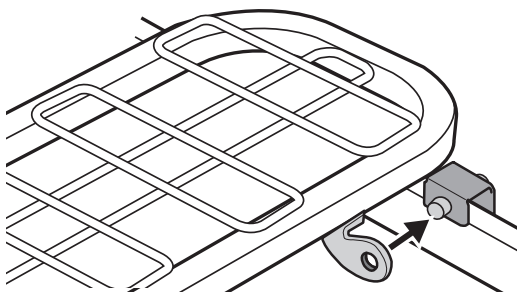
腰ボトム・ひざ脚ボトムを
取り付けます

5-2

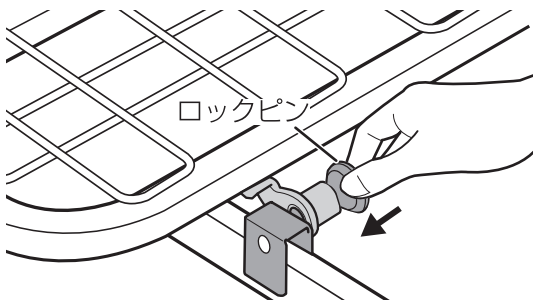
腰ボトムを取り付けま
す。

腰ボトム

①腰ボトムの穴を、センターフレームの
突起に挿し込みます。



②腰ボトムのロックピンを引っ張りな
がら、センターフレームの穴に挿し
込みます。

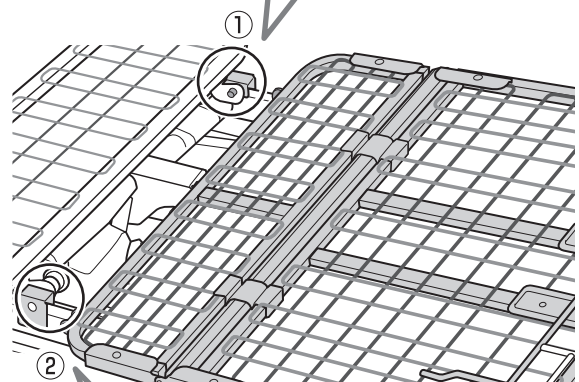
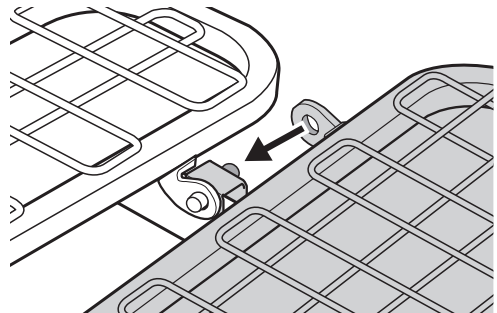


5-3

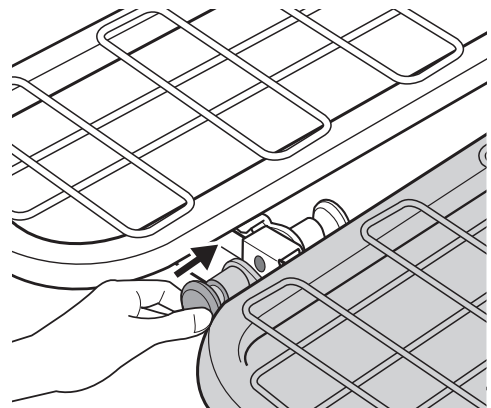
ひざ脚ボトムを取り付
けます。

ひざ脚ボトム

①ひざ脚ボトムの穴を、センターフレー
ムの突起に挿し込みます。



②ひざ脚ボトムのロックピンを引っ張りな
がら、センターフレームの穴に挿し込
みます。



⚠
確認

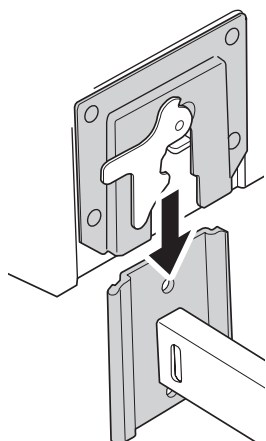
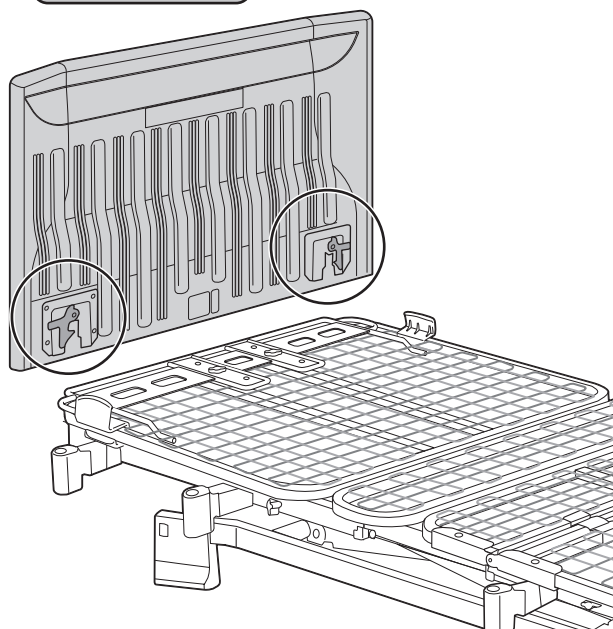
ひざ脚ボトムがしっかり取り付け
られているか確認してください

ボードセットを取り付けます

6

ヘッドボード、フットボードを取り付けます。

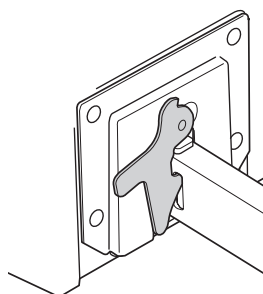
ヘッドボード
フットボード



①ヘッドボードを取り付け金具に真上から挿し込みます。

②ボード側の留め具が取り付け金具の穴部に引っ掛かっていることを確認してください。

③同様に、あし側にもフットボードを取り付けます。



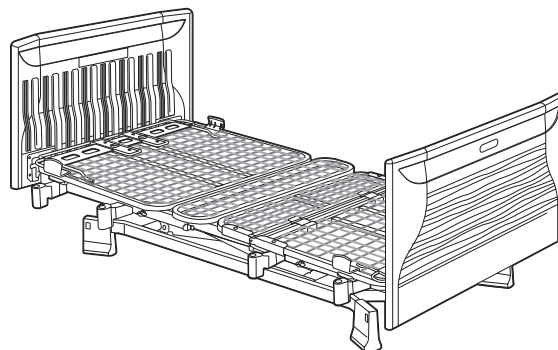
確認

ヘッドボード、フットボードとも
しっかり取り付けられているか
確認してください

電源コードを挿し込んでください

7

最後に電源コードのプラグをコンセントに挿し込んでください。

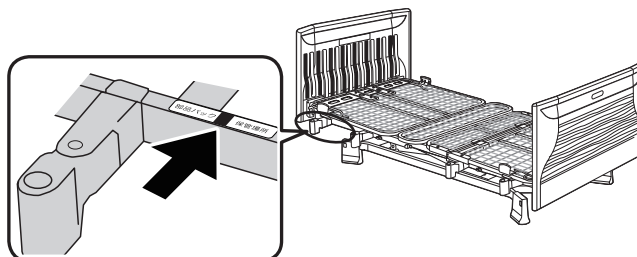


※ベッドの分解方法

- ・ボードの留め具を上げてボードを取り外します。
- ・組み立てかたを参照に逆の手順でおこなってください。

部品パックの取付位置について

組み立て後に部品パックをベッドに取り付ける場合は、ヘッドフレームの下図の場所に取り付けてください。



警告



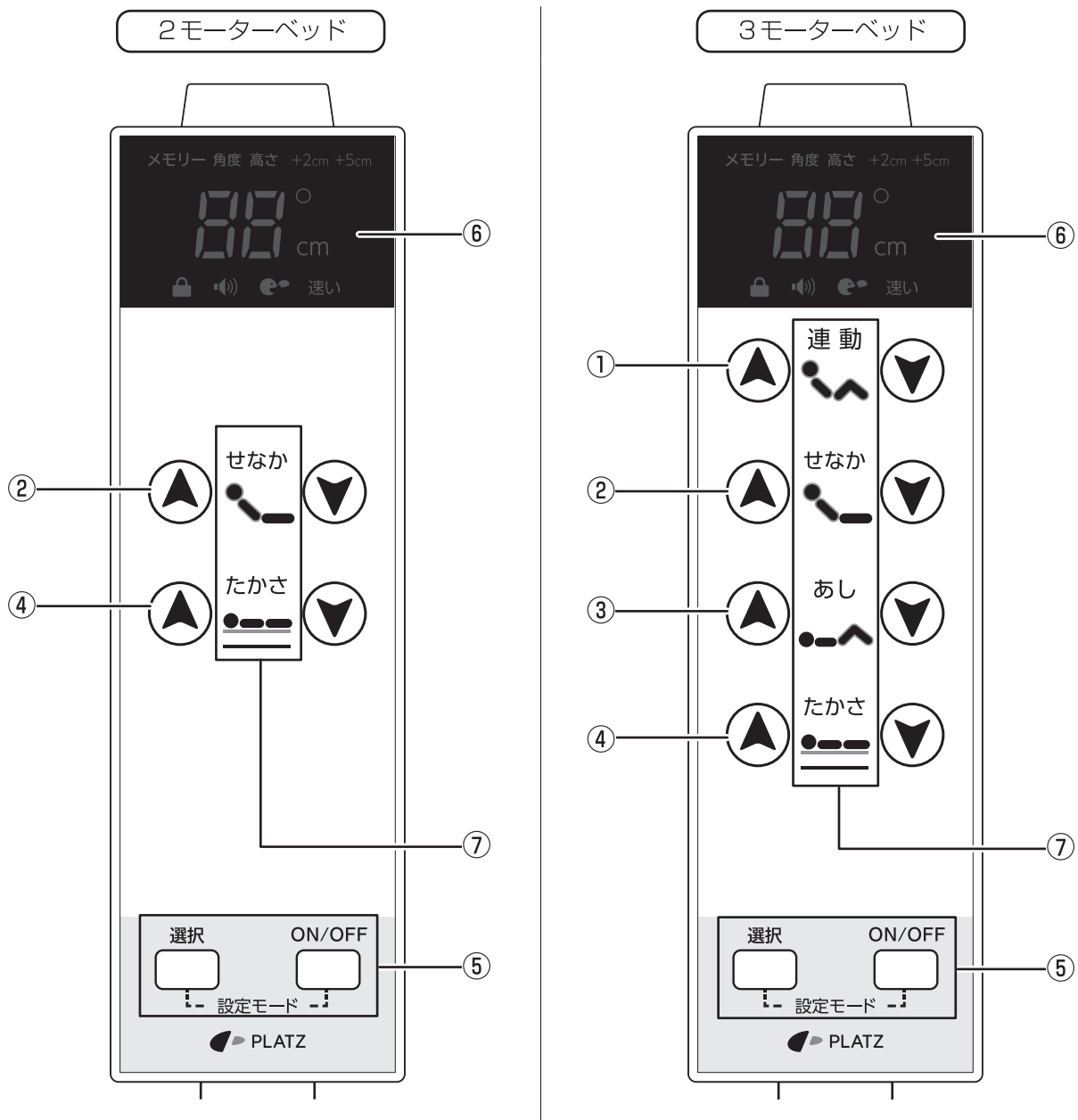
ベッドを一定期間使用しない場合や、介護者が長時間ベッドから離れる場合は、電源プラグを抜いてください。誤操作による事故の恐れがあります。

表示パネル付き手元スイッチの使いかた



- ベッドには、適合する手元スイッチを取り付けてください。
適合しない手元スイッチを取り付けると、不意に動作して怪我をしたり、故障したりする原因となります。
- 手元スイッチを取り付ける際は、ベッドの電源プラグを抜いた状態でおこなってください。
電源プラグを抜かずにベッドに挿し込むと、意図せぬエラーが発生する場合があります。
- ベッドを一定の期間使用しない場合は電源プラグを抜いてください。
誤操作による事故の恐れがあります。
- 手元スイッチを交換する際は、すべてのモーターが完全に縮んだ状態でおこなってください。
モーターが伸びた状態で交換すると、意図せぬエラーが発生する場合があります。

1. 各部の名称とはたらき（※ P28を参照してください。）



操作ボタン

動作させたい部位を上げる場合は▲ボタン、下げる場合は▼ボタンを押し続けることでベッドを操作します。

①連動ボタン

「連動モード」と「リクライニングメモリーモード」の設定により、設定された動作をおこないます。

※詳細は、P32～P33を参照してください。

②せなかボタン

背ボトムの角度を約70°まで調整できます。

③あしボタン

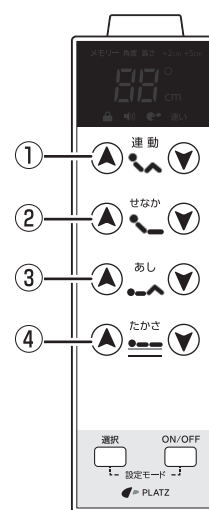
ひざボトムの角度を約22°まで調整できます。

④たかさボタン

床面高さを59cmまで調整できます。

「高さメモリー」の設定により、設定された高さ位置を通過する際に、音声またはビープ音でお知らせします。

※詳細は、P34～35を参照してください。



※ 3 モーターベッドの
手元スイッチ

⑤設定ボタン

設定モードへ切り替えて、各種設定の変更ができます。

「選択」のボタンで選択中の設定項目を切り替えます。

「ON/OFF」のボタンで選択中の設定項目に応じた機能のON・OFFを切り替えます。

※詳細は、P31を参照してください。

⑥表示パネル

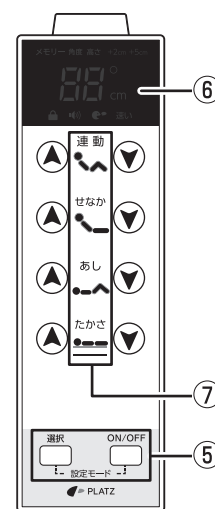
動作中のベッドの角度や高さを表示します。

また、エラーが発生した場合には、エラーコードが表示されます。

※詳細は、P30を参照してください。

⑦表示ランプ

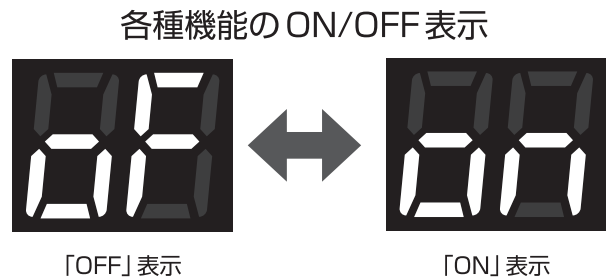
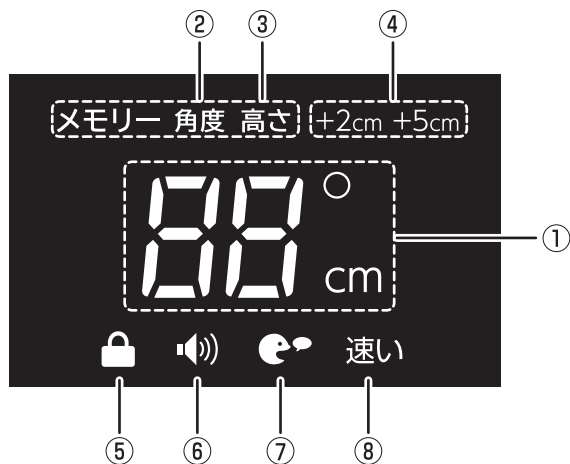
操作可能な操作ボタンのLEDランプが点灯します。



30秒間操作がないと手元スイッチの電源が「スリープ状態」になります。
いずれかの操作ボタンを押すとスリープ状態が解除されます。

表示パネル付き手元スイッチの使いかた

2. 表示パネルについて



① 角度 / 高さ表示

ベッドのボトムの角度や高さ位置を表示します。

② リクライニングメモリーモード表示

リクライニングメモリーモードが「ON」に設定されているときに表示されます。
出荷時には「OFF」に設定されています。

③ 高さメモリーモード表示

高さメモリーモードが「ON」に設定されているときに表示されます。
出荷時には「OFF」に設定されています。

④ 脚座オプションによる高さ表示

オプション登録が「+2cm (キャスト)」または「+5cm (ハイトスペーサー)」に設定されているときに、ベッドの高さ位置表示から追加されている高さを表示します。

出荷時には「OFF」に設定されています。

「キャスト」を「ON」に設定されているときは、「+2cm」と表示されます。

「ハイトスペーサー」を「ON」に設定されているときは、「+5cm」と表示されます。

※「+2cm」と「+5cm」を同時に「ON」に設定することはできません。

⑤ 操作ロック表示

いずれかの操作ボタンのロックが「ON」に設定されているときに「」が表示されます。
出荷時には「OFF」に設定されています。

⑥ 操作音表示

操作音が「ON」に設定されているときに「」が表示されます。
出荷時には「ON」に設定されています。

⑦ 音声表示

操作時の音声が「ON」に設定されているときに「」が表示されます。
出荷時には「OFF」に設定されています。

⑧ 動作速度モード表示

速いモードが「ON」に設定されているときに「**速い**」が表示されます。
出荷時には「OFF」に設定されています。

3. エラー表示

ベッド使用時に異常を検出した場合、下のようなエラーコードが表示されます。
以下に記載した処置や、P61に記載の処置で解消されない場合は修理をご依頼ください。

エラーコード	エラー発生原因	処 置
E1	モーターコードの挿し込みが不十分、または断線している	①点灯している表示ランプに対応するモーターコードをしっかりと奥まで挿し込んでください。 ②モーターコードに損傷などがないかを確認して、損傷がある場合には交換してください。
	モーターからの信号が電源ボックス側でうまく受け取れない	③P39に記載の「エラー解除操作」を実施してください。 これらの確認でエラー表示が解消されない場合は、モーターまたは電源ボックス、またはその両方を交換してください。
E2	手元スイッチと電源ボックスの通信がうまくいかない	①手元スイッチコードをしっかりと奥まで挿し込んでください。 ②手元スイッチコードに損傷などがないかを確認して、損傷がある場合には交換してください。 これらの確認でエラー表示が解消されない場合は、手元スイッチを交換してください。
E3	電装品を過電流から保護する機能がはたらいっている	すべての操作ボタンから指を離してください。 およそ3秒後に操作モードに自動復帰します。
【その他】 表示パネルの数値が、動作の最上位、または最下位の数値にジャンプする	モーターコードが半挿しになっている	①エラー表示に対応するモーターコードをしっかりと奥まで挿し込んでください。 ②エラー表示に対応する動作の最下位の数値が表示されるまで「下げる」ボタンを押す、またはP40に記載の「ベッドの設定の初期化」を実施してください。
【その他】 表示パネルが表示されない		①電源プラグをコンセントに挿し込んでください。 ②電源コードと手元スイッチコードに損傷などがないかを確認して、損傷がある場合には交換してください。

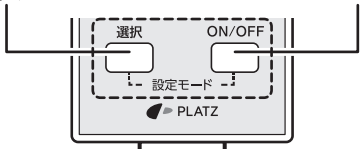
表示パネル付き手元スイッチの使いかた

4. 設定モードへの切り替え

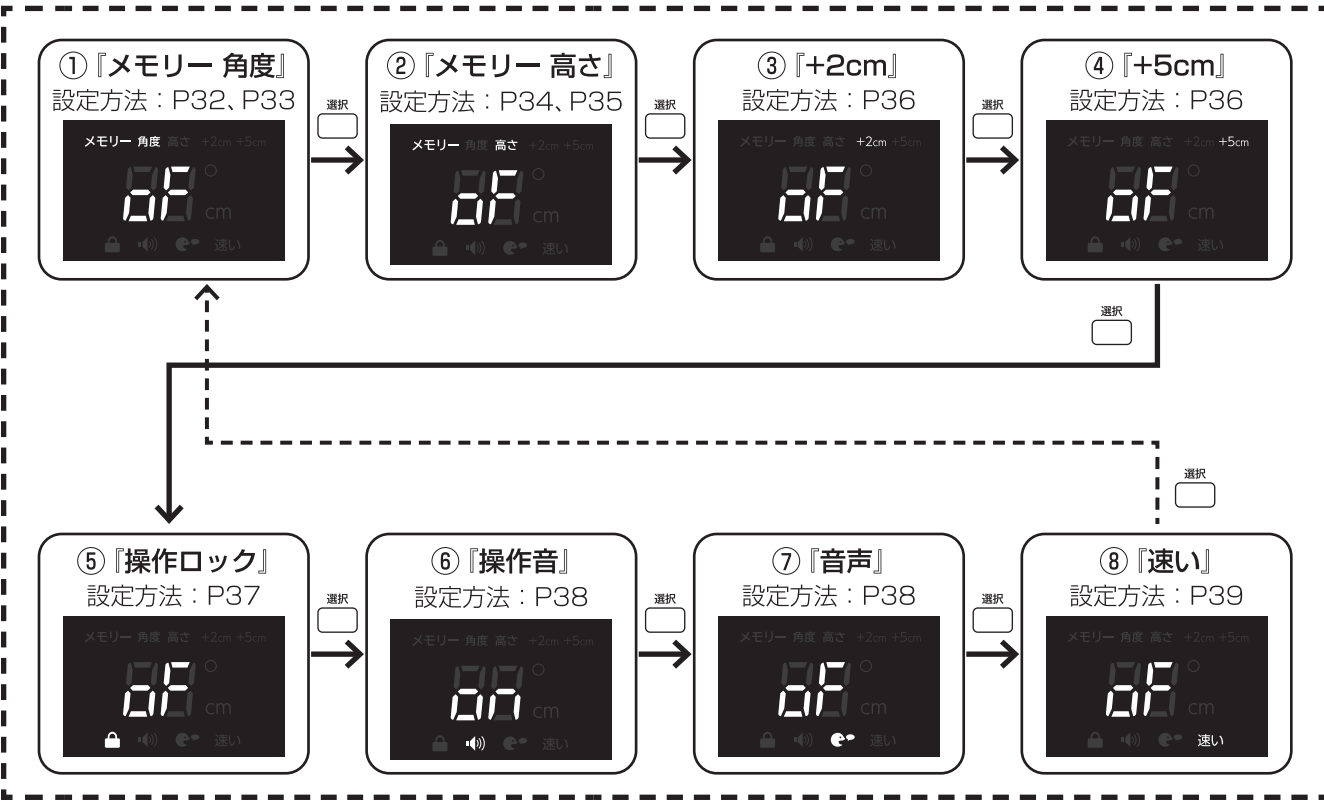
設定モードへ切り替えて、各種設定の変更ができます。

- ① 選択ボタン

ON/OFF ボタン

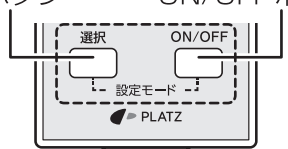

- ①「選択」と「ON/OFF」のボタンを、同時に2秒間長押ししてください。
2秒間のビープ音が鳴り、設定モードに切り替わります。
- ②


- ②表示パネルに選択中の設定項目が点滅表示されます。
「選択」のボタンを押すごとに、選択中の設定項目が以下の順番で切り替わります。
(はじめは『メモリ 角度』が選択されています。)



- ③ 選択ボタン

ON/OFF ボタン


- ③「選択」と「ON/OFF」のボタンを、同時に2秒間長押ししてください。
2秒間のビープ音が鳴り、設定モードが終了します。

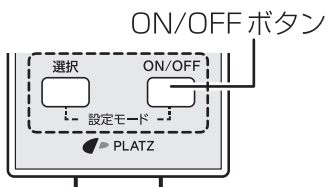
設定モード終了後、設定した内容にしたがって、表示パネルに設定項目またはマークが表示されます。

リクライニングメモリーの設定

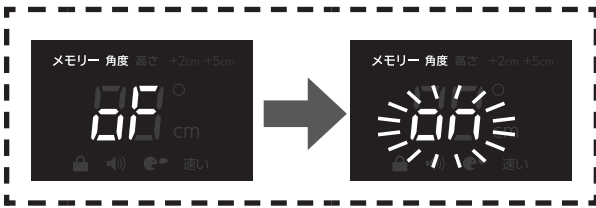
登録したベッドのポジションに向けて、ベッドのボトム角度を調節します。

＜設定方法＞ ※例として、3モーターベッドの場合を記載しています。

①

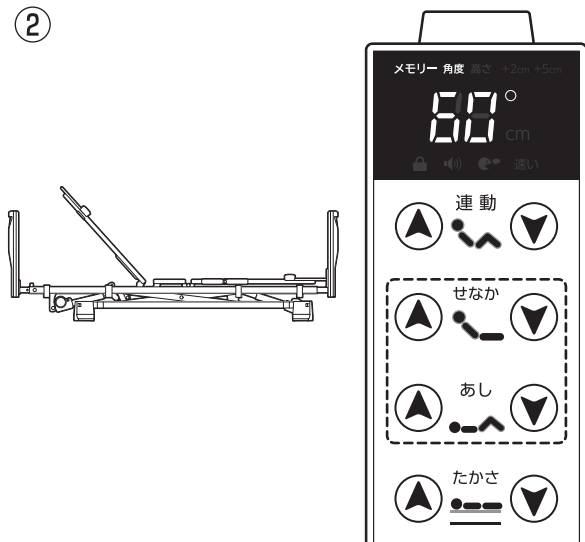


① 設定モードにて、設定項目の『メモリー 角度』が選択された状態で、「ON/OFF」のボタンを押してください。



表示パネルの表示が「ON」表示（点滅）に変わり、操作可能な操作ボタンの表示ランプが点灯します。

②



② せなか、あしの角度を調節し、登録したいポジションまで動作させてください。動作開始から動作停止後数秒間は、表示パネルの「ON」表示（点滅）が角度表示に変わります。

※「OFF」表示状態、「ON」表示状態（点灯）では、ベッドの動作はできません。

③



③ 再度、「ON/OFF」のボタンを押してください。表示パネルの表示が「ON」表示（点灯）に変わり、「上記②」で設定したポジションの登録が完了します。

④



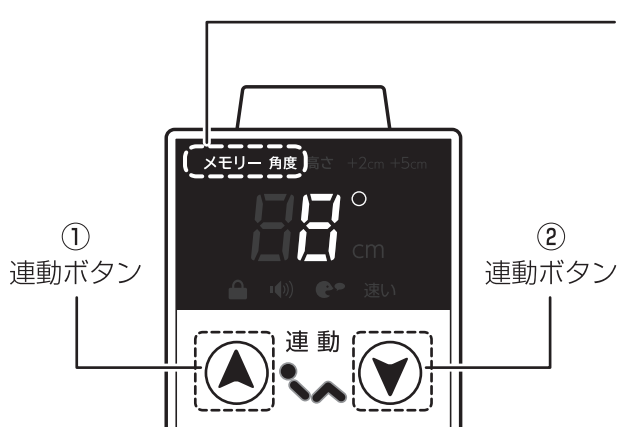
④ 設定モードを終了してください。連動モードから「リクライニングメモリーモード」に設定が切り替わります。

（表示パネルに『メモリー 角度』が表示されま
す。）

表示パネル付き手元スイッチの使いかた

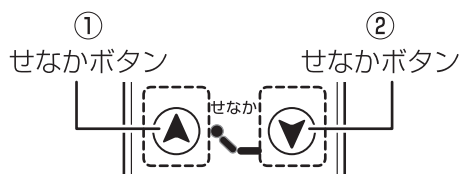
リクライニングメモリーモード時の連動動作

登録したベッドのポジションに向けて、ベッドのボトム角度を調節します。



①連動ボタンの▲を押し続けることで、あらかじめ設定したポジションに向けて動作します。
※設定された角度に到達した際に、音声でお知らせします。
『音声』が「ON」に設定されている場合、音声でお知らせします。(P38参照)

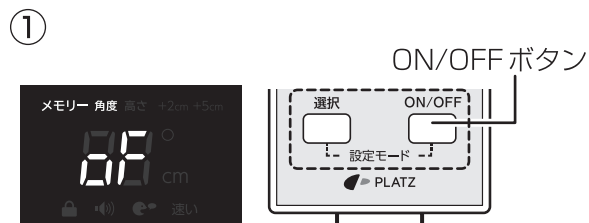
②連動ボタンの▼を押し続けることで、すべてのボトムの角度を一斉に下げることができます。



※2モーターベッドでは、連動ボタンの代わりにせなかボタンで操作します。

リクライニングメモリーの解除

登録したポジションの設定を解除します。



①設定モードにて、設定項目の『メモリー 角度』が選択された状態で、「ON/OFF」のボタンを押してください。表示パネルの表示が「OFF」表示に変わり、すべての操作ボタンの表示ランプが消灯します。



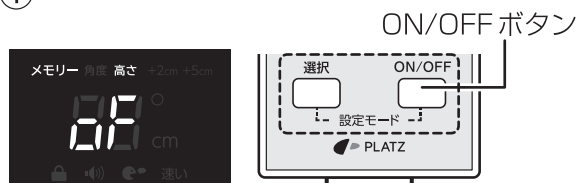
②設定モードを終了してください。リクライニングメモリーの解除が完了し、リクライニングメモリーモードから『連動モード』に設定が切り替わります。
(表示パネルの『メモリー 角度』の表示が消えます。)

高さメモリーの設定

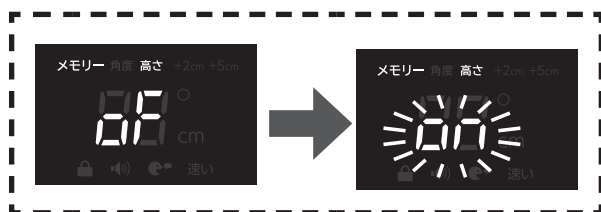
設定された高さを通過する際に、音声もしくははビーブ音でお知らせします。

＜設定方法＞ ※例として、3モーターベッドの場合を記載しています。

①

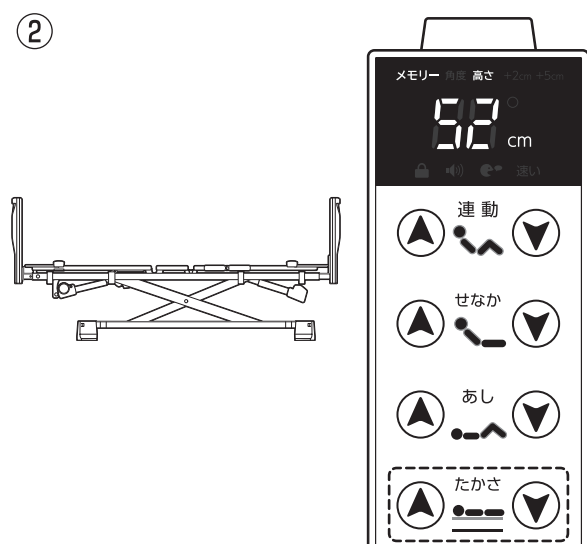


①設定モードにて、設定項目の『メモリー 高さ』が選択された状態で、「ON/OFF」のボタンを押してください。



表示パネルの表示が「ON」表示（点滅）に変わり、操作可能な操作ボタンの表示ランプが点灯します。

②



②ベッドの高さを調整し、登録したいポジションまで動作させてください。
動作開始から動作停止後数秒間は、表示パネルの「ON」表示（点滅）が高さ表示に変わります。

※「OFF」表示状態、「ON」表示状態（点灯）では、ベッドの動作はできません。

③



③再度、「ON/OFF」のボタンを押してください。
表示パネルの表示が「ON」表示（点灯）に変わり、“上記②”で設定したポジションの登録が完了します。

④



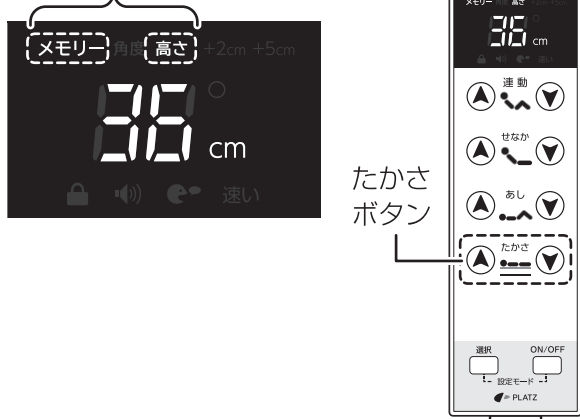
④設定モードを終了してください。
「高さメモリー」の設定が完了します。
(表示パネルに『メモリー 高さ』が表示されます。)

表示パネル付き手元スイッチの使いかた

高さメモリー設定時の昇降動作

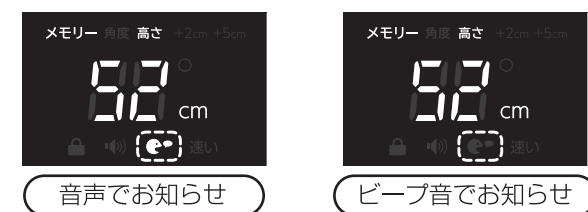
「高さメモリー」の設定により、設定された高さ位置を通過する際に、音声もしくはビーブ音でお知らせします。

① 高さメモリー設定時は『メモリー 高さ』が表示されています。



① たかさボタン (▲)、(▼) を押し続けることで、ベッドの高さが調節できます。

② 設定された高さ位置を通過する際に、

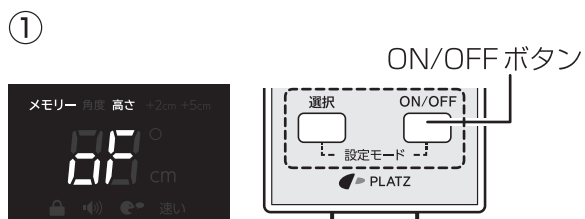


『音声』が「ON」に設定されている場合、音声でお知らせします。

『音声』が「OFF」に設定されている場合、ビーブ音でお知らせします。

高さメモリーの解除

設定した高さ位置を解除します。



① 設定モードにて、設定項目の『メモリー 高さ』が選択された状態で、「ON/OFF」のボタンを押してください。
表示パネルの表示が「OFF」表示に変わり、すべての操作ボタンの表示ランプが消灯します。

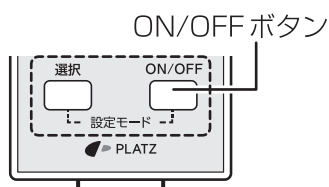
② 設定モードを終了してください。
高さメモリーの解除が完了します。(表示パネルの『メモリー 高さ』の表示が消えます。)

ベッドのオプション登録

ベッドに装着されているオプション（キャスターまたはハイトスペーサー）により、ベッドの高さ表示の位置から追加されている高さを表示します。

<設定方法>

①



①設定モードにて、

キャスターを取り付けている場合は
設定項目の『+2cm』を、

ハイトスペーサーを取り付けている場合は
設定項目の『+5cm』を、

選択した状態で、「ON/OFF」のボタンを押し
てください。

表示パネルの表示が「ON」表示に変わります。

②



②設定モードを終了してください。

上記①で設定したオプション登録が完了しま
す。

キャスターを登録している間は、表示パネルに
『+2cm』が表示されます。

ハイトスペーサーを登録している間は、表示パ
ネルに『+5cm』が表示されます。

表示パネル付き手元スイッチの使いかた

操作ロックの設定

手元スイッチの操作ボタンを使えなくすることができます。

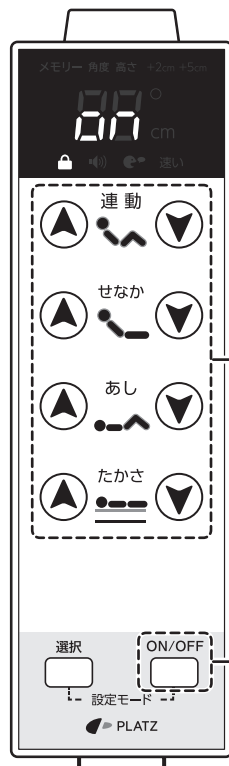
＜設定方法＞ ※例として、3モーターベッドの場合を記載しています。

①



- ① 設定モードにて、
設定項目の『操作ロック』の表示『』が選択された状態にしてください。
操作ロック可能なボタンの表示ランプが点灯します。

②



- ② 以下の操作方法にしたがい、操作ロックの設定をしてください。

● 操作ボタンを個別でロックする場合

操作をロックしたい操作ボタン 、 のいずれかを押してください。
表示パネルの表示が3秒間「ON」表示となり、押された操作ボタンの表示ランプが消灯します。

● 操作ボタンを一括でロックする場合

「ON/OFF」のボタンを押してください。
表示パネルの表示が3秒間「ON」表示となり、すべての操作ボタンの表示ランプが消灯します。

③



- ③ 設定モードを終了してください。
上記②で設定した操作ロックの設定が完了します。

いずれか1つでも操作ロックが設定されていると、表示パネルに『』が表示されます。



確認

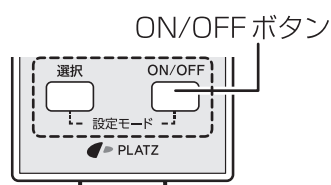
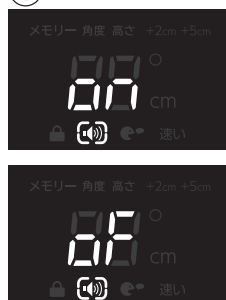
- 操作ロックされたボタンの表示ランプは設定完了後、消灯します。
- せなか、あしのいずれかのボタンを操作ロックした場合でも、「連動」ボタンによるベッドの連動動作時はロックされた機能も動作します。
- 連動ボタンを操作ロックした場合でも、操作ロックしていない せなか、あしのいずれかのボタンによるベッドの操作は可能です。

操作音の設定

操作音の「あり／なし」を切り替えることができます。

<設定方法>

①



① 設定モードにて、設定項目の『操作音』の表示『』が選択された状態で、「ON/OFF」のボタンを押してください。

ボタンを押すごとに表示パネルに表示される「ON」表示と「OFF」表示が切り替わります。

②



② 設定モードを終了してください。

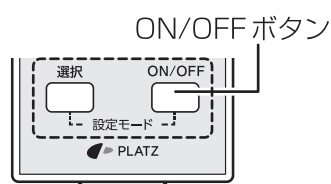
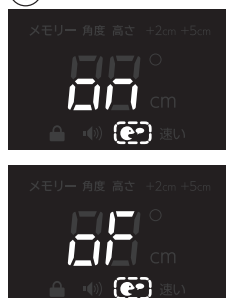
『操作音』を「ON」に設定している間は、表示パネルに『』が表示されます。

音声の設定

音声案内の「あり／なし」を切り替えることができます。

<設定方法>

①



① 設定モードにて、設定項目の『音声』の表示『』が選択された状態で、「ON/OFF」のボタンを押してください。

ボタンを押すごとに表示パネルに表示される「ON」表示と「OFF」表示が切り替わります。

②



② 設定モードを終了してください。

『音声』を「ON」に設定している間は、表示パネルに『』が表示されます。

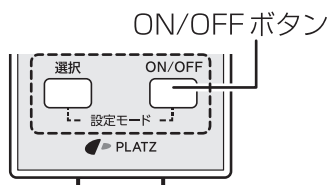
表示パネル付き手元スイッチの使いかた

動作速度モードの設定

速いモードに設定することで、ベッドの動作速度を速めることができます。

<設定方法>

①



- ① 設定モードにて、設定項目の『速い』の表示『速い』が選択された状態で、「ON/OFF」のボタンを押してください。
ボタンを押すごとに表示パネルに表示される「ON」表示と「OFF」表示が切り替わります。

②



- ② 設定モードを終了してください。
動作速度モードが「通常速度モード」から「速いモード」に切り替わります。

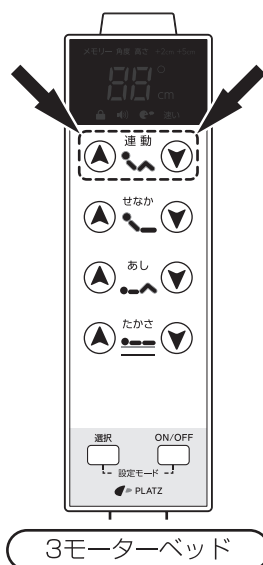
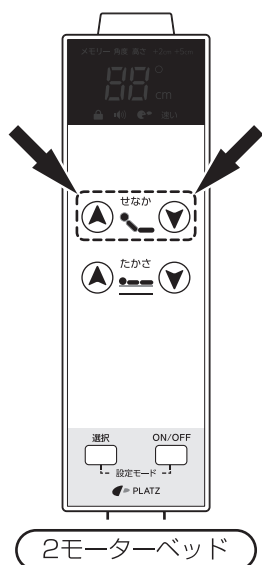
『速い』を「ON」に設定している間は、表示パネルに『速い』が表示されます。

※3モーターベッドの連動動作は対象外です。
(速いモードでも動作速度は変わりません。)

エラーコード「E1」発生時の対応方法 <エラー解除操作>

エラーコード「E1」が発生した場合は、下記の「エラー解除操作」をおこなってください。

<設定方法>



電源ボックスのモーターコードおよび手元スイッチの挿し込み位置が正しいことを確認して、しっかり奥まで挿し込んでください。

その後、手元スイッチの最上段の「あがる」「さがる」ボタンを同時に長押ししてください。

約3秒後にブザー音が鳴りながら、すべてのモーターが縮み始めます。

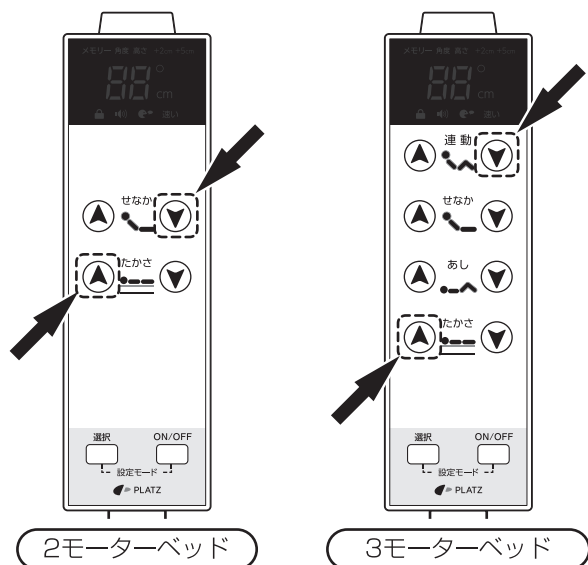
すべてのモーターが最後まで縮み、ブザー音が鳴り終わると、エラー解除操作完了です。

エラーが解除されていることを確認してください。

ベッドの設定の初期化

現状のベッドの設定（リクライニングメモリー、高さメモリー、オプション登録、操作ロック、操作音、音声、動作速度モード）をすべて解除して、初期化します。

<設定方法>



電源ボックスのモーターコードおよび手元スイッチの挿し込み位置が正しいことを確認して、しっかり奥まで挿し込んでください。

その後、手元スイッチの最上段の「さがる」ボタンと、最下段の「あがる」ボタンを同時に長押ししてください。

約3秒後に短いブザー音が鳴りながら、すべてのモーターが縮み始めます。
すべてのモーターが最後まで縮むと、長いブザー音が鳴り、鳴り終わると初期化完了です。

出荷時の初期状態

設 定	状 態
リクライニングメモリー	設定なし
高さメモリー	設定なし
オプション登録	設定なし
操作ロック	すべての動作が可能
操作音	ON
音声	OFF
動作速度モード	通常速度モード

長さの切り替えかた <レギュラー・ショート・ロングの切り替え>

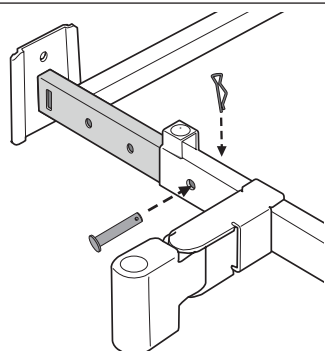
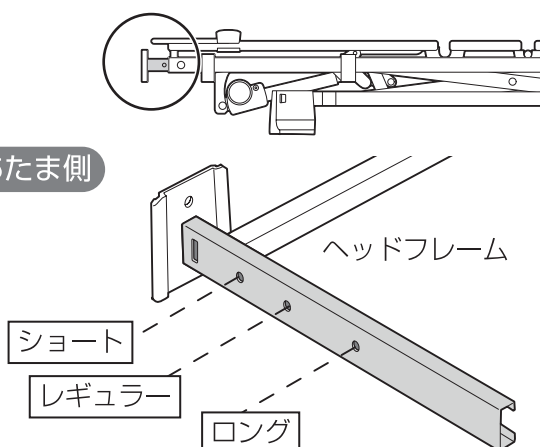
「ヘッドフレーム・フットフレーム」「ボトムセット」は、設定の変更でレギュラー・ショート・ロングの長さに切り替えることができます。(初期設定は、レギュラーサイズです。)

※下記「A→B」の順番で切り替えてください。

A. ヘッドフレーム・フットフレームの長さ切り替え

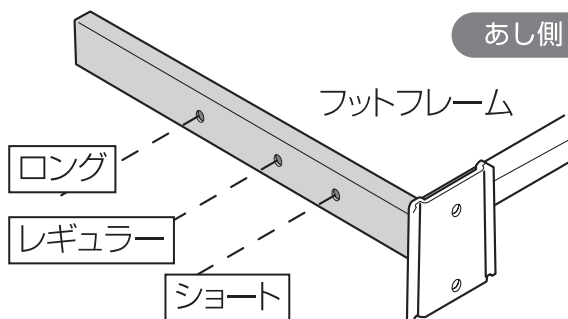
- ①ヘッドボード、フットボードを取り外します。
- ②イラストの長さ設定位置に合わせ、ピンと割りピンで取り付けます。

あたま側



- ③左右2箇所とも同じ長さに設定して取り付けてください。
- ④同様にフットフレームも長さ設定して取り付けてください。

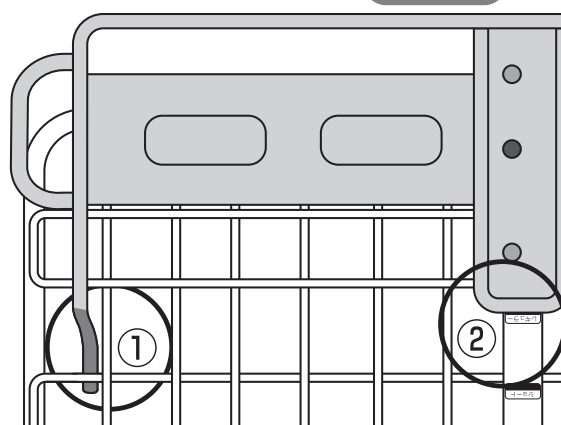
あし側



B. 背ボトム・ひざ脚ボトムの長さ切り替え

- ①先端を背ボトムのネットの下側に入れ込んでください。

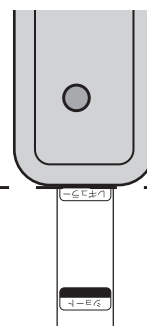
あたま側



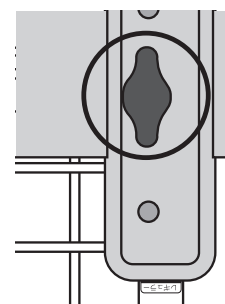
- ②背ボトムの「ショート」「レギュラー」「ロング」印のいずれかに合わせます。

※ヘッドフレーム、フットフレームと同じ長さに設定してください。

②



- ③ボルトをしっかりと締め付けてください。左右2箇所とも同じ長さに設定して取り付け付けてください。



- ④同様にひざ脚ボトムも長さ設定して取り付け付けてください。
- ⑤ヘッドボード・フットボードを取り付けます。



確認

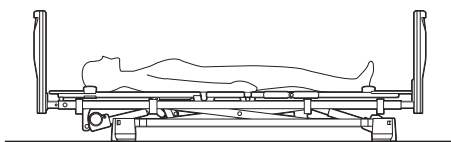
しっかり取り付けられているか確認してください

3モーターベッドの連動動作

連動背上げ動作

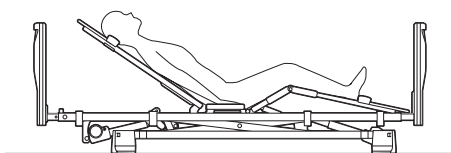
連動ボタンの▲を押し続けることで動作します。

①



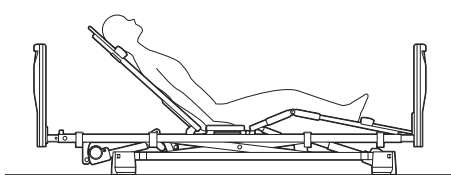
① 背、ひざが上がり始める。

②



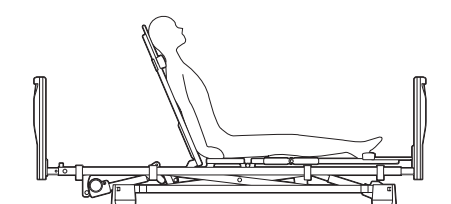
② ひざは所定の角度まで上がると止まり、背は上がり続ける。

③



③ 背は上がり続け、ひざは下がり始める。

④

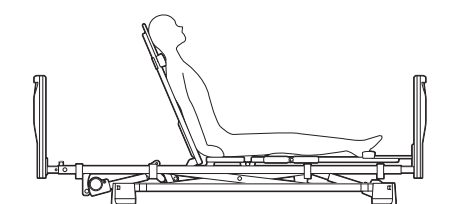


④ 背は70°まで上がり、ひざは0°になる。

連動背下げ動作

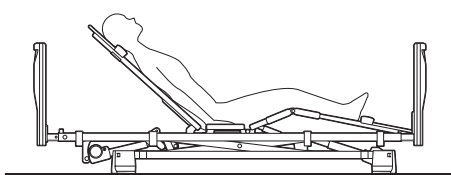
連動ボタンの▼を押し続けることで動作します。

①



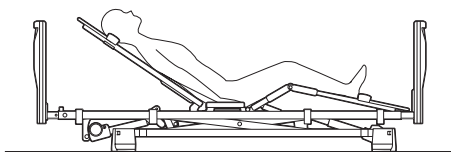
① 背は下がり、ひざは上がり始める。

②



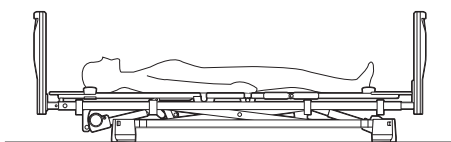
② ひざは所定の角度まで上がると止まり、背は下がり続ける。

③



③ 背は下がり続け、ひざは下がり始める。

④



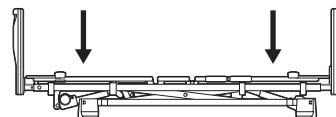
④ 背、ひざが0°になる。

背あし連動／背のみの切り替えについて

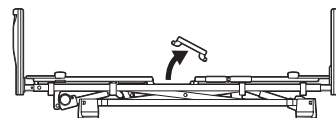
※2モーターベッドのみ

レバー操作で「背あし連動」か「背のみ」に切り替えることができます

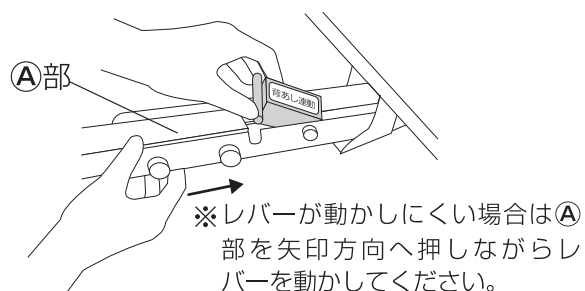
①手元スイッチを使い背ボトム、ひざボトムを完全に下げます。

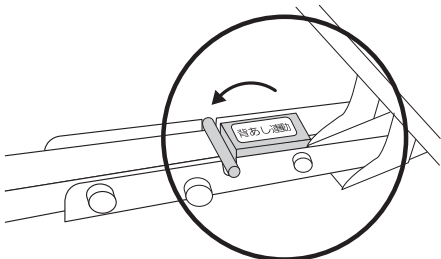
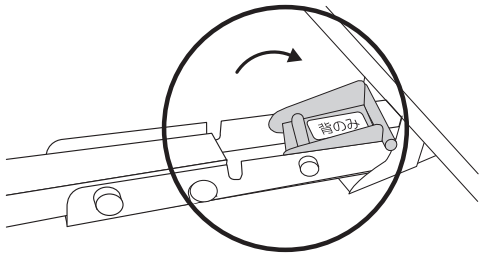


②電源コードを抜いて、腰ボトムを外してください。



③「背あし連動」か「背のみ」を選び、選んだ方へレバーが止まるまで指で倒します。



背あし連動	背のみ
「背あし連動」の方へレバーが止まるまで指で倒します。 	「背のみ」の方へレバーが止まるまで指で倒します。 

④外した腰ボトムを取り付け、電源コードを挿してください。

⑤手元スイッチを操作し、選んだ方に動くことを確認してください。

ライジングモーションによる背上げ・背下げ動作

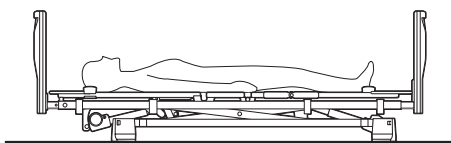
※2モーターベッドのみ

※連動動作を使用するには、「背あし連動」に設定する必要があります。(P43)

背を上げる場合

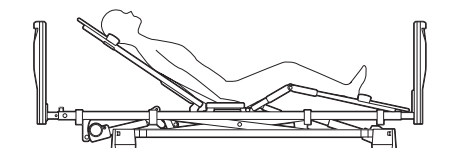
せなかボタンの▲を押し続けることで動作します。

①



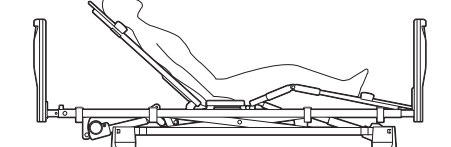
①背、ひざが上がり始める。

②



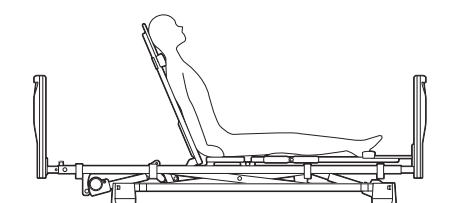
②ひざは所定の角度まで上がると止まり、背は上がり続ける。

③



③背は上がり続け、ひざは下がり始める。

④

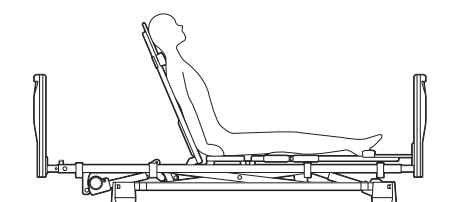


④背は70°まで上がり、ひざは0°になる。

背を下げる場合

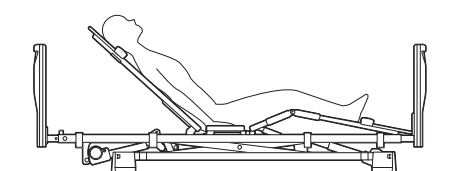
せなかボタンの▼を押し続けることで動作します。

①



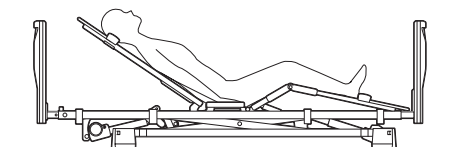
①背は下がり、ひざは上がり始める。

②



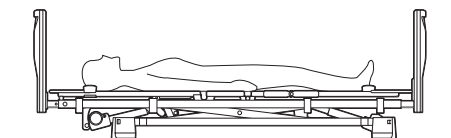
②ひざは所定の角度まで上がると止まり、背は下がり続ける。

③



③背は下がり続け、ひざは下がり始める。

④



④背、ひざが0°になる。

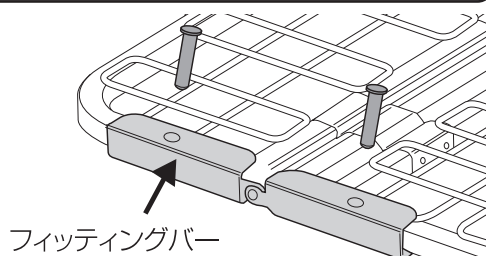
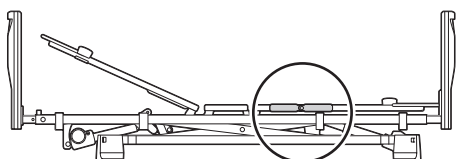
フィッティングバーの設定

フィッティングの目的

利用者のひざの位置に合わせて脚ボトムの屈曲位置を2段階に調節することができるため、ベッド上でずれを軽減します。

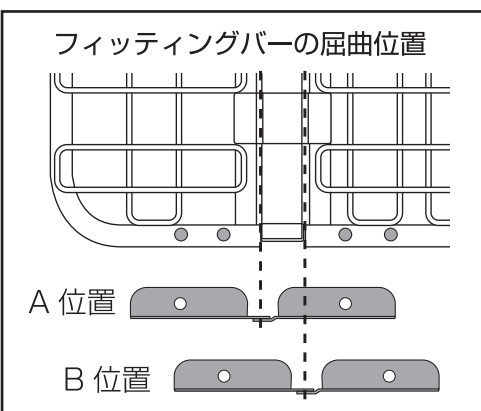
ひざ脚ボトムのフィッティングバー調節方法

- ①両側のフィッティングバーのピンそれぞれ2本を上を外します。



- ②「A位置」「B位置」のいずれかを選び、フィッティングバーをスライドさせて穴位置を合わせます。

※フィッティングバーの屈曲位置を、右図の位置に合わせてください。



- ③それぞれ2箇所ピンを挿入します。

※初期設定は「A位置」に合わせています。

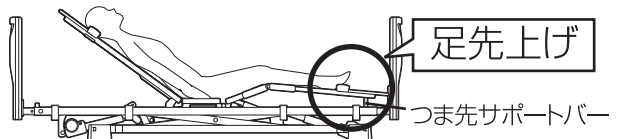
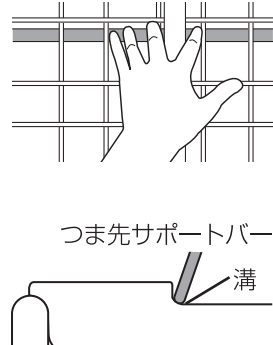
A位置 適応身長目安 175cm未満の方	A line drawing of the leg mechanism showing the fitting bar in the A position. A dimension line indicates a length of "約23cm". The position is labeled "A位置".	A perspective view of the bed frame showing the fitting bar in the A position being inserted into the side rail. The position is labeled "A位置".
B位置 適応身長目安 175cm以上の方	A line drawing of the leg mechanism showing the fitting bar in the B position. A dimension line indicates a length of "約28cm". The position is labeled "B位置".	A perspective view of the bed frame showing the fitting bar in the B position being inserted into the side rail. The position is labeled "B位置".

便利な使いかた

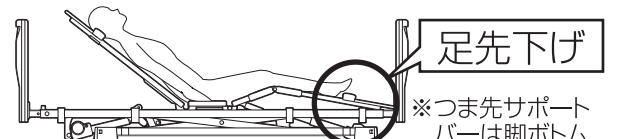
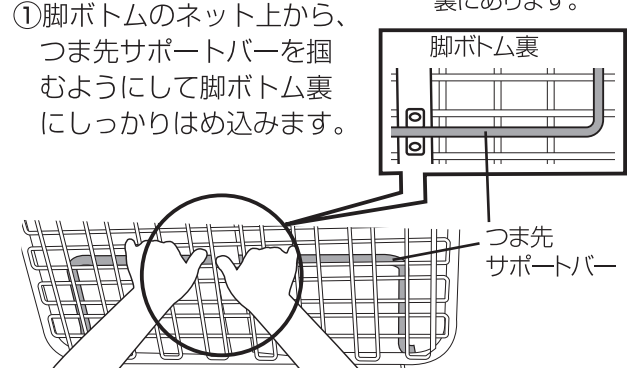
選べるつま先

- 足のむくみなどの軽減に、つま先サポートバーの位置で「足先上げ」「足先下げ」が選べます。
※つま先サポートバーは、脚ボトム裏にあります。
※作業時は、必ず利用者はベッドから降りていただき作業をおこなってください。
※寝具をベッドから降ろし、作業は脚ボトムを手で支えておこなってください。

「足先上げ」の設定

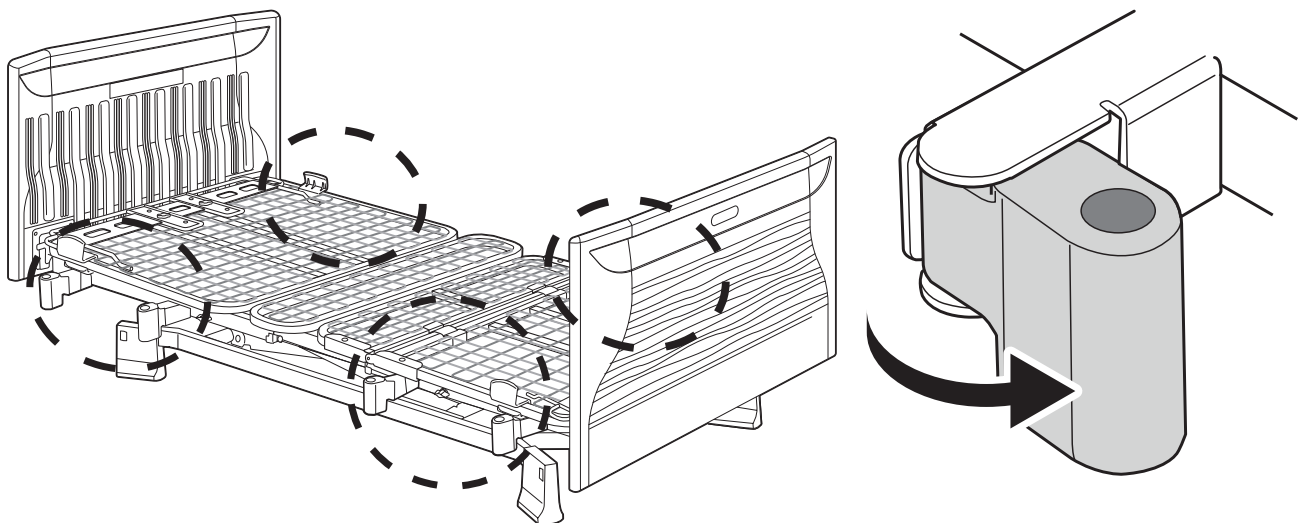
- 
- ① “「足先下げ」設定のしかた”の①図の箇所の脚ボトムのネットの隙間から、つま先サポートバーをしっかりと押さえて、脚ボトム裏から外します。
- 
- ②つま先サポートバーがフットフレーム溝に入ったことを確認してください。
- ③このままひざ上げします。

「足先下げ」の設定

- 
- ①脚ボトムのネット上から、つま先サポートバーを掴むようにして脚ボトム裏にしっかりとめ込みます。
- 
- ②このままひざ上げします。

オプション受けはすべて収納式

- 車椅子をベッドに密着させることができ、移乗を楽におこなうことができます。



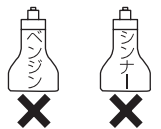
器具のお手入れ・点検

1. 本体について

お手入れ

- お手入れの際は、必ず電源プラグを抜いておこなってください。
- 商品のお手入れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。清拭する場合は柔らかい布を使用し、水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞って拭き、その後水に浸した布をよく絞って残った洗剤分を拭き取ってください。
最後に乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- 商品水を濡らしたり、ベンジン・シンナー・オイル類・粉末洗剤などを使用しないでください。故障・ひび割れ・サビや感電、火災の原因になり危険です。
- ベッドを踏み台代わりに使用しないでください。
- ベッドの下は非常にホコリが溜まりやすくなっています。
こまめにお掃除してください。
- モーター周辺の駆動部は、時々ハケやブラシで掃除してください。
またその時モーター、手元スイッチコードが接続されているかご確認ください。
- 電源プラグにホコリが溜まらないよう、こまめにお掃除してください。
- 消毒する場合は下記の消毒剤を指定の濃度で、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

・ 消毒用エタノール	76.9-81.4%	・ 塩化ベンゼトニウム	0.05-0.2%
・ 塩化ベンザルコニウム	0.05-0.2%	・ グルコン酸クロルヘキシジン	0.05%
・ 次亜塩素酸ナトリウム	0.02-0.05%		



※別の方がベッドを使用する前には、ベッドを消毒することをおすすめします。

点検

- 点検前に電源プラグを抜いてください。
- 各部品のビス・ボルト・ナットが緩んでいませんか？
- モーター、手元スイッチコードが正常に装着されていますか？
- コード類に傷などありませんか？
- 誤作動、異音がありませんか？
- キャスターや樹脂部品に亀裂や破損がありませんか？
- ボードがしっかりと取り付けられていますか？

2. 周辺機器について

- 各種周辺機器の取扱説明書の指示に従ってください。

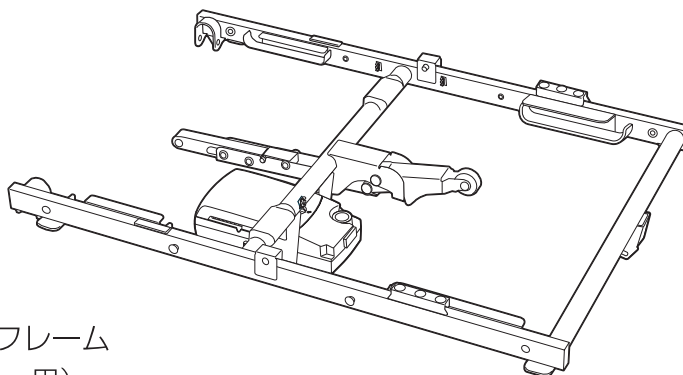
変更のしかた

●2モーターから3モーターへ変更

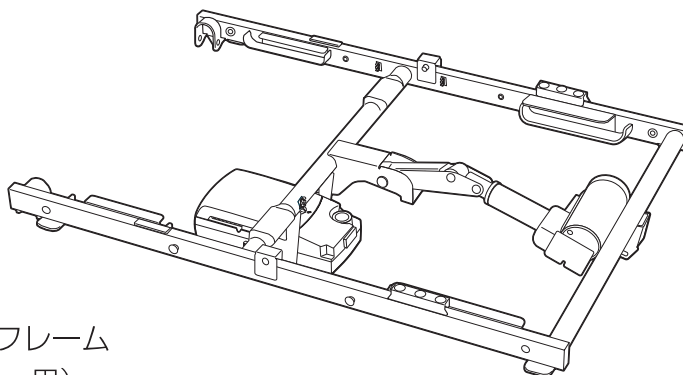
●3モーターから2モーターへ変更

交換が必要なもの

手元スイッチ、センターフレーム



センターフレーム
(2モーター用)

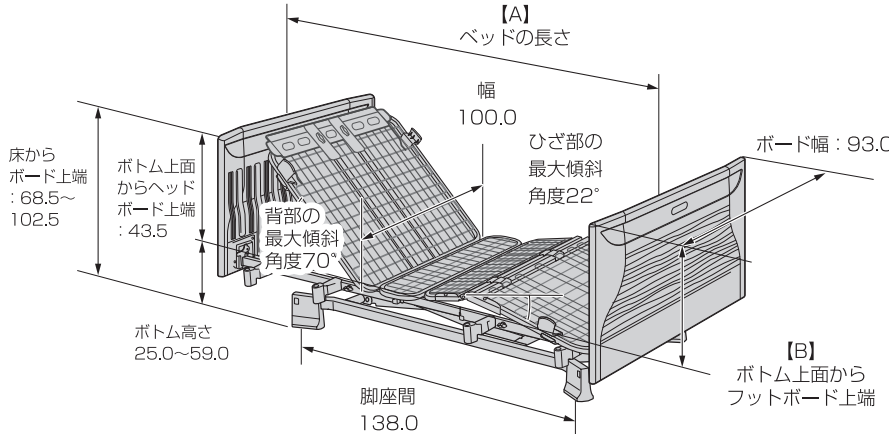


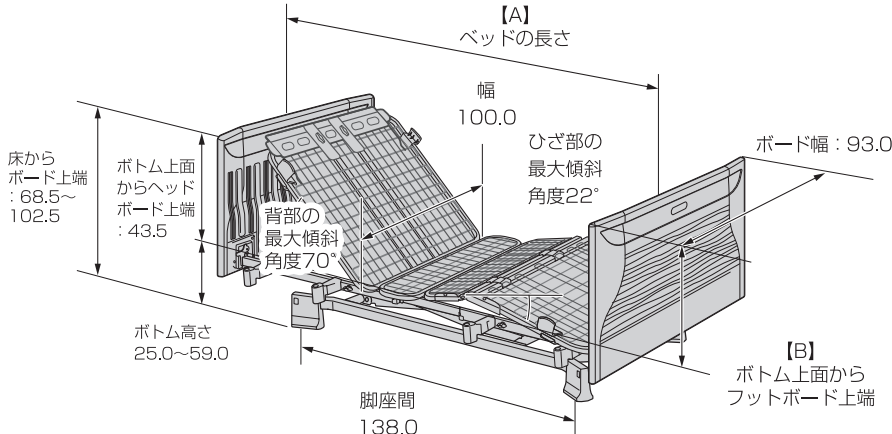
センターフレーム
(3モーター用)

※3モーターから2モーターへの変更は、手元スイッチのみの交換（センターフレームは、3モーター用のまま）でも可能です。その場合、ひざ上げは作動できません。

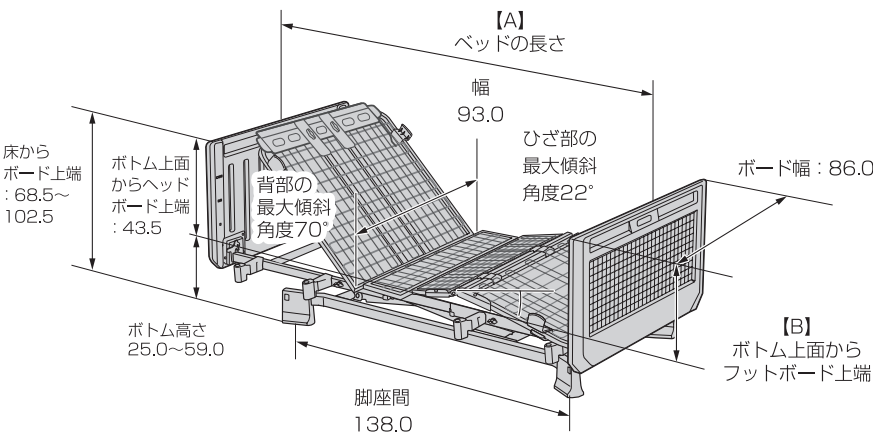
※2モーターから3モーターへの変換キット（BS-003）、および3モーターから2モーターへの変換キット（BS-004）もございます。

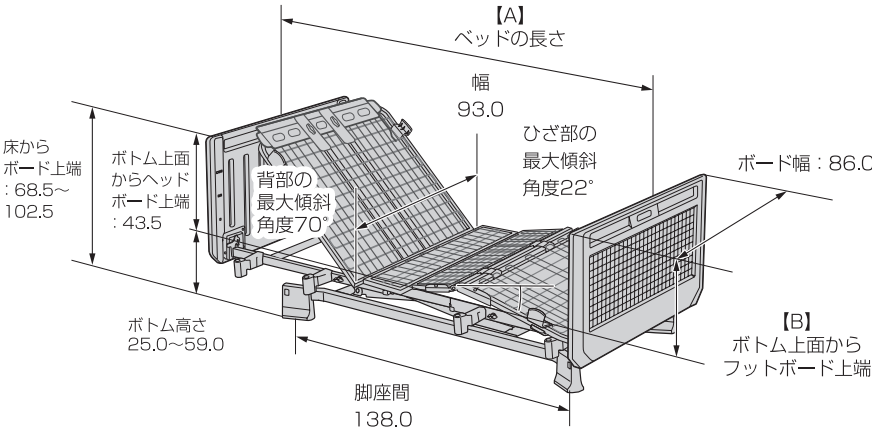
商品の仕様

型 式	P113-23シリーズ					
商品名	2モーターベッド (90cm幅)					
ベッド寸法					(単位 : cm)	
	ボードの種類	【A】 ベッドの長さ			【B】 ボトム上 面からフット ボード上端	
		ショート	レギュラー	ロング		
		樹脂ボードセット/PP113-ACZ-5/5	194.0	204.0	218.0	43.5
		樹脂ボードセット/PP113-AHZ-5/5	197.0	207.0	221.0	
		木製ボードセット/PP113-BAZ-5/5	192.0	202.0	216.0	29.0
		木製ボードセット/PP113-BFZ-5/5	191.5	201.5	215.5	
	木製宮付ボードセット/PP113-BBZ-5/5	207.0	217.0	231.0		
質 量 梱包仕様	商品質量合計	構成品	商品質量	梱包サイズ	梱包質量	
	P113-23AC : 86.0kg P113-23AH : 85.5kg P113-23BA : 88.0kg P113-23BF : 89.5kg P113-23BB : 92.0kg	(1/5) ベースフレーム	23.5kg	156.0cm × 88.0cm × 23.0cm	28.0kg	
		(2/5) センターフレーム	10.0kg	102.5cm × 75.5cm × 18.0cm	12.0kg	
		(3/5) ヘッド・フットフレーム	19.5kg	93.5cm × 101.5cm × 26.0cm	24.5kg	
		(4/5) ボトムセット	21.0kg	98.0cm × 97.0cm × 18.0cm	25.0kg	
		(5/5) 樹脂ボードセット (PP113-ACZ-5/5)	12.0kg	94.0cm × 55.5cm × 10.5cm	13.0kg	
		(5/5) 樹脂ボードセット (PP113-AHZ-5/5)	11.5kg	95.5cm × 56.0cm × 14.5cm	13.0kg	
		(5/5) 木製ボードセット (PP113-BAZ-5/5)	14.0kg	100.0cm × 61.0cm × 10.5cm	15.0kg	
		(5/5) 木製ボードセット (PP113-BFZ-5/5)	15.5kg	100.0cm × 61.0cm × 10.5cm	17.0kg	
		(5/5) 木製宮付ボードセット (PP113-BBZ-5/5)	12.0kg	100.0cm × 61.0cm × 22.5cm	13.5kg	
	※ボードはそれぞれ別梱包です。		6.0kg	100.0cm × 46.5cm × 7.5cm	7.0kg	
材 質	・ 本体ユニット : スチール、ABS樹脂 ・ 木製ボード : MDF、オレフィン系シート ・ 樹脂ボード : PE					
電動機能	無段階自在式 : 背上げ角度 (0° ~ 70°)、ひざ上げ角度 (0° ~ 22°) 昇降 (床面高さ25 ~ 59cm)					
騒音試験結果	50dB(A)	定格電圧	100V-240V (50/60Hz)			
定格消費電力	150W	最大利用者体重	138kg / 安全動作荷重 : 174kg (1700N)			
原産国	ベトナム					

型 式	P113-33シリーズ				
商品名	3モーターベッド (90cm幅)				
ベッド寸法					(単位 : cm)
	ボードの種類	【A】 ベッドの長さ			【B】 ボトム上面からフットボード上端
		ショート	レギュラー	ロング	
	樹脂ボードセット/PP113-ACZ-5/5	194.0	204.0	218.0	43.5
	樹脂ボードセット/PP113-AHZ-5/5	197.0	207.0	221.0	
	木製ボードセット/PP113-BAZ-5/5	192.0	202.0	216.0	29.0
	木製ボードセット/PP113-BFZ-5/5	191.5	201.5	215.5	
木製宮付ボードセット/PP113-BBZ-5/5	207.0	217.0	231.0		
質 量 梱包仕様	商品質量合計	構成品	商品質量	梱包サイズ	梱包質量
	P113-33AC : 87.0kg P113-33AH : 86.5kg P113-33BA : 89.0kg P113-33BF : 90.5kg P113-33BB : 93.0kg	(1/5) ベースフレーム	23.5kg	156.0cm × 88.0cm × 23.0cm	28.0kg
		(2/5) センターフレーム	11.0kg	102.5cm × 75.5cm × 18.0cm	13.0kg
		(3/5) ヘッド・フットフレーム	19.5kg	93.5cm × 101.5cm × 26.0cm	24.5kg
		(4/5) ボトムセット	21.0kg	98.0cm × 97.0cm × 18.0cm	25.0kg
		(5/5) 樹脂ボードセット (PP113-ACZ-5/5)	12.0kg	94.0cm × 55.5cm × 10.5cm	13.0kg
		(5/5) 樹脂ボードセット (PP113-AHZ-5/5)	11.5kg	95.5cm × 56.0cm × 14.5cm	13.0kg
		(5/5) 木製ボードセット (PP113-BAZ-5/5)	14.0kg	100.0cm × 61.0cm × 10.5cm	15.0kg
		(5/5) 木製ボードセット (PP113-BFZ-5/5)	15.5kg	100.0cm × 61.0cm × 10.5cm	17.0kg
		(5/5) 木製宮付ボードセット (PP113-BBZ-5/5)	12.0kg	100.0cm × 61.0cm × 22.5cm	13.5kg
※ボードはそれぞれ別梱包です。	6.0kg	100.0cm × 46.5cm × 7.5cm	7.0kg		
材 質	・ 本体ユニット : スチール、ABS樹脂 ・ 木製ボード : MDF、オレフィン系シート ・ 樹脂ボード : PE				
電動機能	無段階自在式 : 背上げ角度 (0°~70°)、ひざ上げ角度 (0°~22°) 昇降 (床面高さ25~59cm)				
騒音試験結果	50dB(A)	定格電圧	100V-240V (50/60Hz)		
定格消費電力	150W	最大利用者体重	138kg / 安全動作荷重 : 174kg (1700N)		
原産国	ベトナム				

商品の仕様

型 式	P113-24シリーズ					
商品名	2モーターベッド (83cm 幅)					
ベッド寸法	(単位 : cm) 					
	ボードの種類	【A】 ベッドの長さ			【B】 ボトム上 面からフット ボード上端	
		ショート	レギュラー	ロング		
		樹脂ボードセット/PP113-CCZ-5/5	194.0	204.0		218.0
	木製ボードセット/PP113-DAZ-5/5	192.0	202.0	216.0	43.5	
質 量 梱包仕様	商品質量合計	構成品		商品質量	梱包サイズ	梱包質量
	P113-24CC : 83.5kg P113-24DA : 85.0kg	(1/5) ベースフレーム		23.5kg	156.0cm × 88.0cm × 23.0cm	28.0kg
		(2/5) センターフレーム		10.0kg	102.5cm × 75.5cm × 18.0cm	12.0kg
		(3/5) ヘッド・フットフレーム		18.0kg	93.5cm × 101.5cm × 26.0cm	23.0kg
		(4/5) ボトムセット		20.5kg	91.0cm × 97.0cm × 18.0cm	24.5kg
		(5/5) 樹脂ボードセット (PP113-CCZ-5/5)		11.5kg	87.0cm × 55.5cm × 10.5cm	12.5kg
		(5/5) 木製ボードセット (PP113-DAZ-5/5)		13.0kg	93.0cm × 61.0cm × 10.5cm	14.0kg
材 質	・ 本体ユニット : スチール、ABS 樹脂 ・ 木製ボード : MDF、オレフィン系シート ・ 樹脂ボード : PE					
電動機能	無段階自在式 : 背上げ角度 (0° ~ 70°)、ひざ上げ角度 (0° ~ 22°) 昇降 (床面高さ25 ~ 59cm)					
騒音試験結果	50dB(A)	定格電圧	100V-240V (50/60Hz)			
定格消費電力	150W	最大利用者体重	138kg / 安全動作荷重 : 174kg (1700N)			
原産国	ベトナム					

型 式	P113-34シリーズ					
商品名	3モーターベッド (83cm 幅)					
ベッド寸法	(単位: cm) 					
	ボードの種類	【A】ベッドの長さ			【B】ボトム上面からフットボード上端	
		ショート	レギュラー	ロング		
		樹脂ボードセット/PP113-CCZ-5/5	194.0	204.0		218.0
	木製ボードセット/PP113-DAZ-5/5	192.0	202.0	216.0	29.0	
質 量 梱包仕様	商品質量合計	構成品		商品質量	梱包サイズ	梱包質量
	P113-34CC : 84.5kg P113-34DA : 86.0kg	(1/5) ベースフレーム		23.5kg	156.0cm × 88.0cm × 23.0cm	28.0kg
		(2/5) センターフレーム		11.0kg	102.5cm × 75.5cm × 18.0cm	13.0kg
		(3/5) ヘッド・フットフレーム		18.0kg	93.5cm × 101.5cm × 26.0cm	23.0kg
		(4/5) ボトムセット		20.5kg	91.0cm × 97.0cm × 18.0cm	24.5kg
		(5/5) 樹脂ボードセット (PP113-CCZ-5/5)		11.5kg	87.0cm × 55.5cm × 10.5cm	12.5kg
		(5/5) 木製ボードセット (PP113-DAZ-5/5)		13.0kg	93.0cm × 61.0cm × 10.5cm	14.0kg
材 質	・ 本体ユニット: スチール、ABS 樹脂 ・ 木製ボード: MDF、オレフィン系シート ・ 樹脂ボード: PE					
電動機能	無段階自在式: 背上げ角度 (0°~70°)、ひざ上げ角度 (0°~22°) 昇降 (床面高さ25~59cm)					
騒音試験結果	50dB(A)	定格電圧	100V-240V (50/60Hz)			
定格消費電力	150W	最大利用者体重	138kg / 安全動作荷重: 174kg (1700N)			
原産国	ベトナム					

適合周辺機器 <90cm幅>

サイドレール	PA505-44 / PA505-75 / PA505-96 / PA500-FU44 / BG-75J / BG-96J
ベッド用グリップ	PF500-116 / PZR-AT116J / PG02-116AT / PG03-116M
ハンドグリップ	PG04-75
ロングタイプ対応 スペーサー	PS02-BG (BG系) / PS02-PA505 (PA505系用) / PS03-AT116J (ニーパロ用) / PS03-PF500 (ニーパロⅡ用) / PS03-PG0203 (グリップ用)
マットレス	(レギュラータイプ) PKM-9080 / PKM-E80BR / PD503-A9008 / PM09-A9008 / PM11-9009 / PM12-9009 / PM18-A9012 / PM19-A9012 / PM21-A9010 / PM22-A9010 / PM23-A9008 / PM26-A9008 / PM27-A9008 / PM28-A9008 / PM29-A9008
	(ショートタイプ) PD503-A9008S / PD504-A9008S / PM09-A9008S / PM11-9009S / PM12-9009S / PM18-A9012S / PM19-A9012S / PM21-A9010S / PM22-A9010S / PM23-A9008S / PM26-A9008S / PM27-A9008S / PM28-A9008S / PM29-A9008S
	(レギュラー／ショート切り替えタイプ) PM14-A9008 / PM15-A9008
	(ロングタイプ) PM14-A9008L / PM15-A9008L
	もしくは下記サイズ、質量を満たすもの サイズ： (レギュラータイプ) : 幅 88～91cm × 長さ 190～192cm (ショートタイプ) : 幅 88～91cm × 長さ 182cm (ロングタイプ) : 幅 88～91cm × 長さ 206cm 厚さ：最大 18cm以下 最小 7cm以上 質量：34kg以下 ※BGシリーズ、PA500-FU44のサイドレールを使用する場合、マットレスの厚さは最大16cm 以下が適合範囲となります。
延長マットレス (ロングタイプ用)	PM08-90A / PM08-90B / PM16-90L / PM20-L9011 ※延長マットレスに適合するレギュラーサイズのマットレスと組み合わせて使用してください。
テーブル	PZT-840 / PGT-400LM / PT01-A1 / PT03シリーズ
床キズ防止 カーペット	PSC-1216SC ※床がフローリングなどで滑りやすい材質の場合は、必ず使用してください。 ベッドが滑り怪我の原因となります。
キャスター	PC03-8CK
ハイトスペーサー	PH05-45
蓄光シール	MC-S24

適合周辺機器 <83cm幅>

サイドレール	PA505-44 / PA505-75 / PA505-96 / PA500-FU44 / BG-75J / BG-96J
ベッド用グリップ	PF500-116 / PZR-AT116J / PG02-116AT / PG03-116M
ハンドグリップ	PG04-75
ロングタイプ対応 スペーサー	PS02-BG (BG系) / PS02-PA505 (PA505系用) / PS03-AT116J (ニーパロ用) / PS03-PF500 (ニーパロⅡ用) / PS03-PG0203 (グリップ用)
マットレス	(レギュラータイプ) PD503-A8308 / PD504-A8308 / PM09-A8308 / PM11-8309 / PM12-8309 / PM18-A8312 / PM19-A8312 / PM21-A8310 / PM22-A8310 / PM23-A8308 / PM26-A8308 / PM27-A8308 / PM28-A8308 / PM29-A8308
	(ショートタイプ) PD503-A8308S / PD504-A8308S / PM09-A8308S / PM11-8309S / PM12-8309S / PM18-A8312S / PM19-A8312S / PM21-A8310S / PM22-A8310S / PM23-A8308S / PM26-A8308S / PM27-A8308S / PM28-A8308S / PM29-A8308S
	(レギュラー／ショート切り替えタイプ) PM14-A8308 / PM15-A8308 (ロングタイプ) PM14-A8308L / PM15-A8308L
	もしくは下記サイズ、質量を満たすもの サイズ： (レギュラータイプ) ：幅 83cm×長さ 190～192cm (ショートタイプ) ：幅 83cm×長さ 182cm (ロングタイプ) ：幅 83cm×長さ 206cm 厚さ：最大 18cm以下 最小 7cm以上 質量：34kg以下 ※BGシリーズ、PA500-FU44のサイドレールを使用する場合、マットレスの厚さは最大16cm 以下が適合範囲となります。
延長マットレス (ロングタイプ用)	PM08-83A / PM08-83B / PM16-83L / PM20-L8311 ※延長マットレスに適合するレギュラーサイズのマットレスと組み合わせて使用してください。
テーブル	PZT-840 / PGT-400LM83 / PT01-A1 / PT03シリーズ
床キズ防止 カーペット	PSC-1216SC ※床がフローリングなどで滑りやすい材質の場合は、必ず使用してください。 ベッドが滑り怪我の原因となります。
キャスター	PC03-8CK
ハイトスペーサー	PH05-45
蓄光シール	MC-S24

パーツ組み合わせ <90cm幅>

●2モーター：P113-23シリーズ

	ショートタイプ	レギュラータイプ	ロングタイプ
ベースフレーム	PP113-ZTZ-1/5		
センターフレーム	PP113-2TZ-2/5		
ヘッド・フットフレーム	PP113-TAZ-3/5		
ボトムセット	PP113-ZAZ-4/5		
樹脂ボードセット	PP113-ACZ-5/5		
樹脂ボードセット	PP113-AHZ-5/5		
木製ボードセット	PP113-BAZ-5/5		
木製ボードセット	PP113-BFZ-5/5		
木製宮付ボードセット	PP113-BBZ-5/5		

●3モーター：P113-33シリーズ

	ショートタイプ	レギュラータイプ	ロングタイプ
ベースフレーム	PP113-ZTZ-1/5		
センターフレーム	PP113-3TZ-2/5		
ヘッド・フットフレーム	PP113-TAZ-3/5		
ボトムセット	PP113-ZAZ-4/5		
樹脂ボードセット	PP113-ACZ-5/5		
樹脂ボードセット	PP113-AHZ-5/5		
木製ボードセット	PP113-BAZ-5/5		
木製ボードセット	PP113-BFZ-5/5		
木製宮付ボードセット	PP113-BBZ-5/5		

パーツ組み合わせ <83cm幅>

●2モーター：P113-24シリーズ

	ショートタイプ	レギュラータイプ	ロングタイプ
ベースフレーム	PP113-ZTZ-1/5		
センターフレーム	PP113-2TZ-2/5		
ヘッド・フットフレーム	PP113-TBZ-3/5		
ボトムセット	PP113-ZBZ-4/5		
樹脂ボードセット	PP113-CCZ-5/5		
木製ボードセット	PP113-DAZ-5/5		

●3モーター：P113-34シリーズ

	ショートタイプ	レギュラータイプ	ロングタイプ
ベースフレーム	PP113-ZTZ-1/5		
センターフレーム	PP113-3TZ-2/5		
ヘッド・フットフレーム	PP113-TBZ-3/5		
ボトムセット	PP113-ZBZ-4/5		
樹脂ボードセット	PP113-CCZ-5/5		
木製ボードセット	PP113-DAZ-5/5		

レールの組み合わせ <○ 正しい組み合わせ>

90cm 幅／83cm 幅 レギュラータイプ

※レールをベッドで使用される際は、下図の正しい組み合わせ、正しい方向でご使用ください。

下図以外の組み合わせは、誤った組み合わせとなります。誤った組み合わせの状態でご使用になると、意図せぬ隙間の発生により怪我をする恐れがあります。

※レールの組み合わせは、頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。

PF500-116 PZR-AT116J PG04-75 PA505-75 BG-75J PG02-116AT PG03-116M 1.5cm 3.5cm 1.5cm 頭側 足側	PF500-116 PZR-AT116J PA505-44 PA500-FU44 PG02-116AT PG03-116M 1.5cm 34.5cm 1.5cm 頭側 足側
PA505-96 BG-96J PA505-96 BG-96J 1.5cm 3.0cm 1.5cm 頭側 足側	PG04-75 PA505-75 BG-75J PA505-75 BG-75J 1.5cm 45.0cm 1.5cm 頭側 足側
PA505-96 BG-96J PA505-44 PA500-FU44 1.5cm 55.0cm 1.5cm 頭側 足側	PG04-75 PA505-75 BG-75J PA500-FU44 1.5cm 76.0cm 1.5cm 頭側 足側
PA505-44 PA500-FU44 PA505-44 PA500-FU44 1.5cm 107.0cm 1.5cm 頭側 足側	

●サイドレール単体で使用される隙間

PF500-116 PZR-AT116J PG02-116AT PG03-116M 1.5cm 77.5cm 頭側 足側	PA505-96 BG-96J 1.5cm 98.5cm 頭側 足側
PG04-75 PA505-75 BG-75J 1.5cm 119.5cm 頭側 足側	

90cm 幅／83cm 幅 ショートタイプ

※レールをベッドで使用される際は、下図の正しい組み合わせ、正しい方向でご使用ください。

下図以外の組み合わせは、誤った組み合わせとなります。誤った組み合わせの状態でご使用になると、意図せぬ隙間の発生により怪我をする恐れがあります。

※レールの組み合わせは、頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。

PF500-116 PZR-AT116J PG04-75 PG02-116AT PG03-116M PA505-75 BG-75J 3.5cm 頭側 足側	PF500-116 PZR-AT116J PA505-44 PG02-116AT PG03-116M PA500-FU44 34.5cm 頭側 足側
PA505-96 BG-96J PA505-96 BG-96J 3.0cm 頭側 足側	PG04-75 PA505-75 BG-75J PG04-75 PA505-75 BG-75J 45.0cm 頭側 足側
PA505-96 BG-96J PA505-44 PA500-FU44 55.0cm 頭側 足側	PG04-75 PA505-75 BG-75J PA505-44 PA500-FU44 76.0cm 頭側 足側
PA505-44 PA500-FU44 PA505-44 PA500-FU44 107.0cm 頭側 足側	

●サイドレール単体で使用する隙間

PF500-116 PZR-AT116J PG02-116AT PG03-116M 72.5cm 頭側 足側	PA505-96 BG-96J 93.5cm 頭側 足側
PG04-75 PA505-75 BG-75J 114.5cm 頭側 足側	

レールの組み合わせ <○ 正しい組み合わせ>

90cm幅／83cm幅 ロングタイプ

※レールをベッドで使用される際は、下図の正しい組み合わせ、正しい方向でご使用ください。

下図以外の組み合わせは、誤った組み合わせとなります。誤った組み合わせの状態でご使用になると、意図せぬ隙間の発生により怪我をする恐れがあります。

※レールの組み合わせは、頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。

頭側 足側	頭側 足側
頭側 足側	頭側 足側
頭側 足側	頭側 足側
頭側 足側	

●サイドレール単体で使用される隙間

頭側 足側	頭側 足側
頭側 足側	

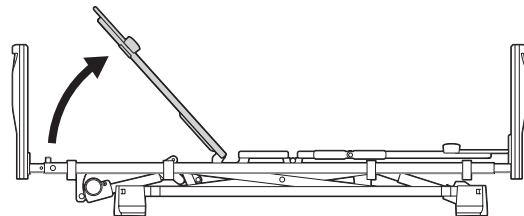
停電時の背下げ方法

※作業時は、必ず利用者はベッドから降りていただき作業をおこなってください。

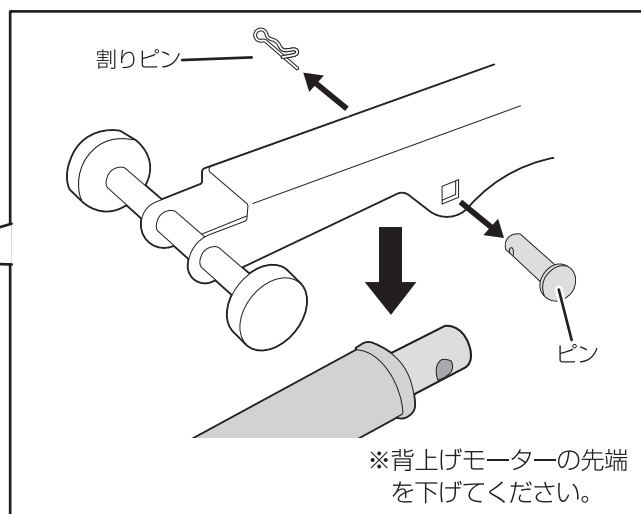
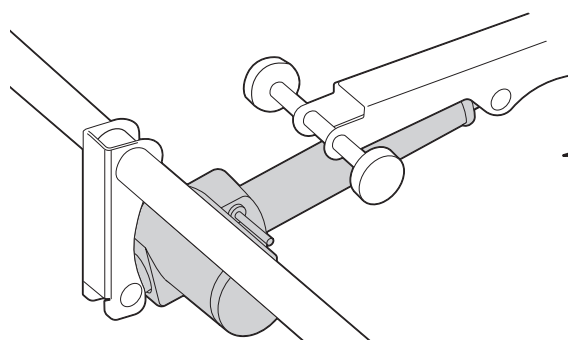
※電源プラグはコンセントから抜いてください。

※危険防止のため、作業は2人でおこなってください。

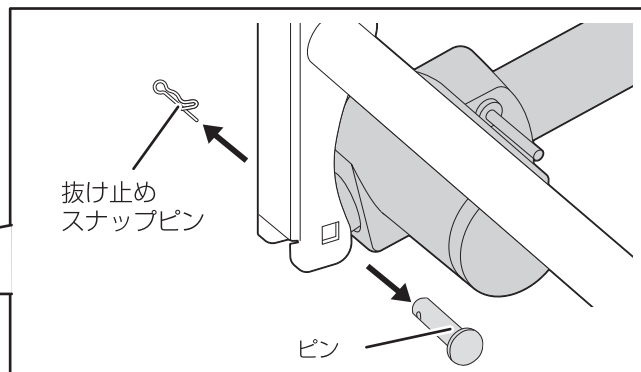
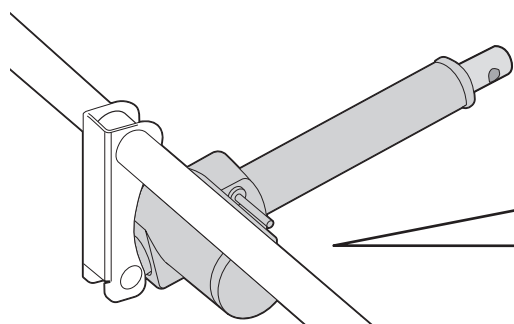
- ①寝具をベッドから降ろし、作業は背ボトムを手で支えておこなってください。



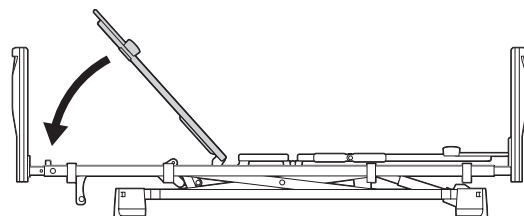
- ②背上げモーター先端の、割りピンとピンを外して、モーターの先端を下げてください。



- ③背上げモーター根元側のピンと抜け止めスナップピンを外してください。



- ④背上げモーターをベッドフレームから外し、背ボトムを下ろします。



※電力が回復しましたら、逆の手順で元に戻してご使用ください。

※外したピンなどの部品は背ボトムを元に戻す際に使用しますので、保管しておいてください。

故障かな？と思ったら

商品が動かないときは、下記の項目を確認してください。

症 状	確認していただきたいこと	処 置
手元スイッチのボタンを押しても動かない	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグをコンセント（AC100V）に挿し込んでください。
	電源プラグが破損していませんか？	販売店または弊社にご連絡ください。
	手元スイッチまたはモーターのコードが抜けていませんか？	手元スイッチおよびモーターのコードを挿し込み口に挿し込んでください。
	手元スイッチの操作をロックしていませんか？	手元スイッチのロックを解除してください。（P37）
	音声が流れているときにボタンを押していませんか？	音声が流れている間はボタン操作ができません。音声の流れ終わるまで待ってから操作してください。
	表示パネルにエラーが表示されていませんか？	「エラー表示（P30）」を確認の上、それぞれのエラーに対する処置をおこなってください。
	可動部に障害物はありませんか？	障害物を取り除いてください。
背ボトム・ひざボトムが意図せぬ動作をする	—	胸部や腹部にかかる圧迫感を軽減するために、操作した部位と違う部位が自動で下がる場合があります。
ボードが外れない	ボード側の留め具がセンターフレームの取付金具に掛かっていませんか？	ボード側の留め具を取付金具から外してから、ボードを取り外してください。（P26）

保管について

- 長期保管する場合
長期間ベッドをご使用にならない場合は下記にご注意ください。
 - ・ 高温、多湿、低温、乾燥、ホコリの多い場所を避けて保管してください。
 - ・ 取扱説明書は大切に保管してください。
- 組み立てた状態でベッドを保管する場合
 - ・ 背ボトム、ひざボトムを水平にしてください。
 - ・ ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
 - ・ ベッドを壁に立て掛けたり横倒しにせず、床に水平に置いて保管してください。
 - ・ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・ 電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に保管してください。
- 分解してベッドを保管する場合
 - ・ ベッドの分解は取扱説明書に従って分解してください。
 - ・ 使用を再開する場合は、取扱説明書に従って正しく組み立ててください。

廃棄について

廃棄の際は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」および各自治体の規制に従ってください。

保証とアフターサービス ※よくお読みください。

保証書について

別紙「取扱説明書のご案内」の裏面が保証書です。
保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

販売店名・お買い上げ日の記入がない場合は、型式・販売店名・お買い上げ日が確認できるように、お買い上げ時の送り状などを保管してください。

修理を依頼するとき

修理を依頼する前に、取扱説明書のP61「故障かな？と思ったら」の項目にしたがって確認してください。

それでも直らない場合はお買い上げの販売店、またはフリーアクセスまでご連絡ください。

※修理・お取り扱い、お手入れのご相談は、お買い上げの販売店（保証書記載）へご連絡ください。

●ご連絡いただきたい内容

- ①商品名および型式（表紙記載）
- ②お買い上げ日（保証書記載）
- ③お買い上げの販売店（保証書記載）
- ④商品のシリアル番号（S/N で始まる番号）



※各パーツに貼ってあるシールに記載されています。

- ⑤故障内容（できるだけ詳しく）
- ⑥ご住所 / お名前 / お電話番号

●保証期間について

保証期間は買い上げ日から3年間です。保証期間内は、保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも有償修理になる場合がありますので、詳しくは保証書の内容をご覧ください。

●保証期間を過ぎている場合

修理および部品交換にて対応可能であれば、有償にて修理いたします。

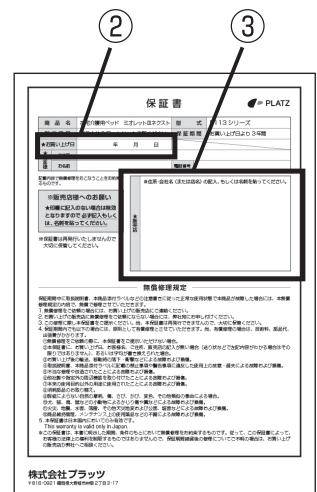
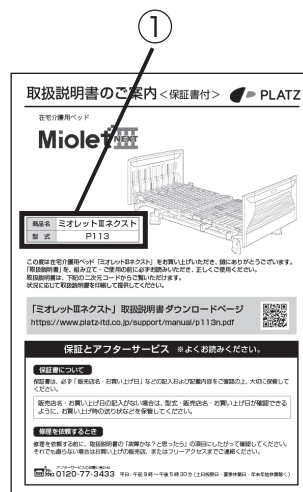
●修理代について

修理代は、部品料、基本出張費、技術料で構成されます。

【部品料】…修理で使った部品代です。

【基本出張料】…お客様のご依頼により、技術者がお届け先まで出張する際に発生する費用です。

【技術料】…商品の診断・故障箇所の修理などの作業にかかる費用です。



アフターサービスのお問い合わせ

0120-77-3433

平日 午前9時～午後5時（土日祝祭日・夏季休業日・年末年始休業除く）

